

自己評価等報告書

(評価対象)

実施機関名	国際コミュニケーション学科	代表者氏名	学科長
評価年度	令和7年度入試選抜	作成者氏名	学科長

(アドミッションポリシーと入試方法ごとの選抜方法の現状)

<p>・さまざまな文化的背景をもった人々と協働し、地域と世界のつながりを意識しながらその持続的な発展のために行動する意欲をもった者の入学を求めています。日本を含むさまざまな国や地域の社会・文化について深く学ぶ意欲、コミュニケーションの手段としての英語や中国語・韓国語の習得に対する意欲をもった学生を歓迎します。</p>																					
総合型選抜	<p>・グローバルかつローカルな視点から、国際化や多文化共生が進む社会で活躍できる人材の育成を目指しています。世界共通語としての英語や我が国と交流が深い中国語や韓国語の能力を身につけることに意欲のある学生、私たちの基盤となる日本の文化・社会の理解や日本語の能力を高めることに意欲のある学生、さまざまな文化的背景のある人々と協働して課題に取り組むことに意欲のある学生を募集します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>知識・技能</th> <th>思考力・判断力・表現力</th> <th>主体性・協働性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>口頭試問</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>書類審査</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">◎最重点評価項目 ○重点評価項目</p>	区分	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性	口頭試問	◎	◎	○	面接	○	◎	◎	書類審査	○						
区分	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性																		
口頭試問	◎	◎	○																		
面接	○	◎	◎																		
書類審査	○																				
I	<table border="1"> <tr> <td>口頭試問</td> <td>・入学志望書に記された「志望分野に関する最近の関心事」への質問を通じて、知識や技能、思考力・表現力を確認します。</td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td>・調査書、入学志望書をもとに、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を確認するため、高校での学習状況、課外活動、授業に取り組む姿勢、学びの習慣及び入学後の抱負などを問います。 ・加点評価がある場合、英語、中国語、韓国語の基礎的な力、もしくは資格や活動への取組みも確認します。</td> </tr> <tr> <td>書類審査</td> <td>・調査書により評価します。</td> </tr> </table>	口頭試問	・入学志望書に記された「志望分野に関する最近の関心事」への質問を通じて、知識や技能、思考力・表現力を確認します。	面接	・調査書、入学志望書をもとに、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を確認するため、高校での学習状況、課外活動、授業に取り組む姿勢、学びの習慣及び入学後の抱負などを問います。 ・加点評価がある場合、英語、中国語、韓国語の基礎的な力、もしくは資格や活動への取組みも確認します。	書類審査	・調査書により評価します。														
口頭試問	・入学志望書に記された「志望分野に関する最近の関心事」への質問を通じて、知識や技能、思考力・表現力を確認します。																				
面接	・調査書、入学志望書をもとに、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を確認するため、高校での学習状況、課外活動、授業に取り組む姿勢、学びの習慣及び入学後の抱負などを問います。 ・加点評価がある場合、英語、中国語、韓国語の基礎的な力、もしくは資格や活動への取組みも確認します。																				
書類審査	・調査書により評価します。																				
II	<table border="1"> <tr> <td>口頭試問</td> <td>・入学志望書に記された「志望分野に関する最近の関心事」への質問を通じて、知識や技能、思考力・表現力を確認します。</td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td>・調査書、入学志望書をもとに、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を確認するため、高校での学習状況、課外活動、授業に取り組む姿勢、学びの習慣及び入学後の抱負などを問います。 ・加点評価がある場合、英語、中国語、韓国語の基礎的な力、もしくは資格や活動への取組みも確認します。</td> </tr> <tr> <td>書類審査</td> <td>・調査書により評価します。</td> </tr> </table>	口頭試問	・入学志望書に記された「志望分野に関する最近の関心事」への質問を通じて、知識や技能、思考力・表現力を確認します。	面接	・調査書、入学志望書をもとに、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を確認するため、高校での学習状況、課外活動、授業に取り組む姿勢、学びの習慣及び入学後の抱負などを問います。 ・加点評価がある場合、英語、中国語、韓国語の基礎的な力、もしくは資格や活動への取組みも確認します。	書類審査	・調査書により評価します。														
口頭試問	・入学志望書に記された「志望分野に関する最近の関心事」への質問を通じて、知識や技能、思考力・表現力を確認します。																				
面接	・調査書、入学志望書をもとに、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を確認するため、高校での学習状況、課外活動、授業に取り組む姿勢、学びの習慣及び入学後の抱負などを問います。 ・加点評価がある場合、英語、中国語、韓国語の基礎的な力、もしくは資格や活動への取組みも確認します。																				
書類審査	・調査書により評価します。																				
学校推薦型選抜	<p>・勉学に対する意欲が旺盛で、本学の学科の専門分野に興味をもち、関連する学力や能力に秀でた学生、課外活動やコンテストなどに積極的に取り組み活動してきた学生、各種検定試験・資格取得などに積極的に取り組んだ学生を募集します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>知識・技能</th> <th>思考力・判断力・表現力</th> <th>主体性・協働性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小論文</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td></td> </tr> <tr> <td>口頭試問</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>書類審査</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">◎最重点評価項目 ○重点評価項目</p>	区分	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性	小論文	◎	◎		口頭試問	○	○		面接	○	◎	◎	書類審査	○		○
区分	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性																		
小論文	◎	◎																			
口頭試問	○	○																			
面接	○	◎	◎																		
書類審査	○		○																		
一般公募	<table border="1"> <tr> <td>小論文</td> <td>・論説文・随筆・図表や統計資料等を読解する能力、要約する能力、自分の考えを論述する能力などを問います。</td> </tr> <tr> <td>口頭試問</td> <td>・入学志望書に記された「志望分野に関する最近の関心事」への質問を通じて、知識や技能、思考力・表現力を確認します。</td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td>・調査書や推薦書、入学志望書をもとに、主体性を持って多様な人々と</td> </tr> </table>	小論文	・論説文・随筆・図表や統計資料等を読解する能力、要約する能力、自分の考えを論述する能力などを問います。	口頭試問	・入学志望書に記された「志望分野に関する最近の関心事」への質問を通じて、知識や技能、思考力・表現力を確認します。	面接	・調査書や推薦書、入学志望書をもとに、主体性を持って多様な人々と														
小論文	・論説文・随筆・図表や統計資料等を読解する能力、要約する能力、自分の考えを論述する能力などを問います。																				
口頭試問	・入学志望書に記された「志望分野に関する最近の関心事」への質問を通じて、知識や技能、思考力・表現力を確認します。																				
面接	・調査書や推薦書、入学志望書をもとに、主体性を持って多様な人々と																				

		協働して学ぶ態度を確認するため、高校での学習状況、課外活動、授業に取り組む姿勢、学びの習慣及び入学後の抱負などを問います。																
指定校推薦	書類審査	・調査書、入学志望書により評価します。																
	口頭試問	・志望する学科のアドミッションポリシーに沿った知識・技能、思考力や自分の考えを表現する力を確認します。																
	面接	・出願書類を参考に志望理由、学科への適正などを確認します。																
	書類審査	・調査書、指定校推薦書、入学志望書により評価します。																
専門高校	・勉学に対する意欲が旺盛で、さまざまな文化的背景を持った人々と協働し、地域と世界のつながりを意識しながら地域社会の持続的な発展のために、高等学校・中等教育学校の専門学科(職業教育を主とする学科)もしくは総合学科で学んだ知識・技能を活かして行動する意欲をもった学生を募集します。																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>知識・技能</th> <th>思考力・判断力・表現力</th> <th>主体性・協働性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小論文</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td></td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>書類審査</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	区分	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性	小論文	◎	◎		面接	○	◎	◎	書類審査	○		○
	区分	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性														
	小論文	◎	◎															
	面接	○	◎	◎														
書類審査	○		○															
	◎最重点評価項目 ○重点評価項目																	
小論文	・論説文・随筆・図表や統計資料等を読解する能力、要約する能力、自分の考えを論述する能力などを問います。																	
面接	・調査書や推薦書、入学志望書をもとに、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を確認するため、高校での学習状況、課外活動、授業に取り組む姿勢、学びの習慣及び入学後の抱負などを問います。																	
書類審査	・調査書、入学志望書により評価します。																	
一般選抜	・学科での教育に必要な総合的な基礎学力を持つ学生を募集します。																	
I	学力検査	・学科で学ぶために必要な学力「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を判定するために、筆記試験により高等学校卒業程度の学力検査を行います。 (選択:「国語」「英語」「数学Ⅰ、数学A」から2科目)																
	調査書	・評価点数には加えないが、高校での資格取得や学習成果の状況を確認します。																
II	学力検査	・大学入学共通テストの成績のみで、本学で学ぶために必要な基礎学力を「知識・技能」を中心に判定を行います。 (必須:「国語」と「英語」「中国語」「韓国語」から1科目 選択:「地理歴史・公民」「数学」「情報」から1科目)																
	調査書	・評価点数には加えないが、高校での資格取得や学習成果の状況を確認します。																
III	学力検査	・大学入学共通テストの成績のみで、本学で学ぶために必要な基礎学力を「知識・技能」を中心に判定を行います。 (必須:「国語」と「英語」「中国語」「韓国語」から1科目 選択:「地理歴史・公民」「数学」「情報」から1科目)																
	調査書	・評価点数には加えないが、高校での資格取得や学習成果の状況を確認します。																
社会人選抜	・すでに社会人としての経験を積み、あらためて短期大学で学び、教養を深めたい方、最新の専門的知識を得たい方を募集します、なお、他の学生に刺激を与え、相互に学習意欲を高め合うことも期待します。																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>知識・技能</th> <th>思考力・判断力・表現力</th> <th>主体性・協働性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小論文</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td></td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>書類審査</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	区分	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性	小論文	◎	◎		面接	○	◎	◎	書類審査	○		○
	区分	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性														
	小論文	◎	◎															
	面接	○	◎	◎														
書類審査	○		○															
	◎最重点評価項目 ○重点評価項目																	
小論文	・論説文・随筆・図表や統計資料等を読解する能力、要約する能力、自分の考えを論述する能力などを問います。																	
面接	・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を確認するため、社会人としての経験及び入学後の抱負などを評価します。																	
書類審査	・履歴書、卒業証明書等により評価します。																	
帰国生徒選抜	・勉学意欲が旺盛で、本学の学科の専門分野に興味を持ち、関連する能力に秀でた																	

		学生、異文化体験で身につけた様々な能力を持つ学生を募集します。			
		区分	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性
		小論文	◎	◎	
		面接	○	◎	◎
		書類審査	○		○
		◎最重点評価項目 ○重点評価項目			
	小論文	・論説文・随筆・図表や統計資料等を読解する能力、要約する能力、自分の考えを論述する能力などを問います。			
	面接	・調査書や履歴書等をもとに、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を確認するため、日本や外国における高校での学習状況、課外活動、授業に取り組む姿勢、学びの習慣及び入学後の抱負などを評価します。			
	書類審査	・調査書、履歴書等により評価します。			
留学生選抜	・本学での授業を理解できる日本語能力があり、勉学意欲が旺盛な学生を募集します。日本人学生と積極的に交流して、日本人学生に外国語学習や異文化理解への動機付けをしてくれることも期待します。				
		区分	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性
		小論文	◎	◎	
		面接	○	◎	◎
		書類審査	○		○
		◎最重点評価項目 ○重点評価項目			
	小論文	・論説文・随筆・図表や統計資料等を読解する能力、要約する能力、自分の考えを論述する能力などを問います。			
	面接	・履歴書や卒業証明書、成績証明書等をもとに、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を確認するため、高校での学習状況、課外活動、授業に取り組む姿勢、学びの習慣及び入学後の抱負などを評価します。			
	書類審査	・履歴書、卒業証明書、成績証明書等により評価します。			

(出題とアドミッションポリシーの対応自己点検)

(総括)		<ul style="list-style-type: none"> ・選抜方法(出題)は、概ねアドミッションポリシーに求める能力を評価しており整合している。 ・一般選抜を除いて、学力の3要素と試験科目の対照表を学生募集要項に記載し、評価する能力を可視化している。 ・より適切な選抜方法や受験者にわかりやすい記載を検討(改善)していく。 		
総合型選抜	(総括)	<ul style="list-style-type: none"> ・口頭試問、面接は、アドミッションポリシーに求める能力を評価している。 ・従来の小論文、課題、プレゼンテーションの試験科目を「口頭試問」に集約し、受験生にわかりやすい評価方法・視点を明示している。 ・選抜方法や加点点評価を検討(改善)していく。 		
I	口頭試問	<ul style="list-style-type: none"> ・入学志望書をもとに、国際化や多文化共生に関する知識や思考力を評価している。 ・知識や思考力がより適切に評価できる方法を検討(改善)していく。 		
	面接	<ul style="list-style-type: none"> ・入学後の学びの目的や高校での活動などを質問し、表現力、学びへの意欲、協働性を評価している。 ・加点点評価する対象がある場合は、外国語での発話試問を行い外国語でのコミュニケーション能力を確認したり、アピールできる高校生活での取り組みなどを確認したりしている。 ・加点点評価の確認の仕方など、受験生の能力をより適切に評価できる方法を検討(改善)していく。 		
	書類審査	<ul style="list-style-type: none"> ・調査書の評定値に基づき評価している。 		
II	口頭試問	<ul style="list-style-type: none"> ・入学志望書をもとに、国際化や多文化共生に関する知識や思考力を評価している。 ・知識や思考力がより適切に評価できる方法を検討(改善)していく。 		
	面接	<ul style="list-style-type: none"> ・入学後の学びの目的や高校での活動などを質問し、表現力、学びへの 		

		<ul style="list-style-type: none"> 意欲、協働性を評価している。 ・加点評価する対象がある場合は、外国語での発話試問を行い外国語でのコミュニケーション能力を確認したり、アピールできる高校生活での取り組みなどを確認したりしている。 ・加点評価の確認の仕方など、受験生の能力をより適切に確認できる方法を検討(改善)していく。
	書類審査	<ul style="list-style-type: none"> ・調査書の評定値に基づき評価している。
学校推薦型選抜	(総括)	<ul style="list-style-type: none"> ・小論文、口頭試問、面接は、アドミッションポリシーに求める能力を評価している。 ・推薦書に、学力の3要素の視点ごとに記載するよう求めることで、評定の公平性、整合性を担保している。 ・一般公募、指定校推薦、専門高校の各選抜の特性を広報し、受験生が各自に適した選抜方法で受験してもらえよう検討(改善)していく。
一般公募	小論文	<ul style="list-style-type: none"> ・訪日外国人観光客の増加を題材に、図表や統計資料を読み取る能力を評価している。 ・知識や思考力、表現力をより適切に評価できる方法を検討(改善)していく。
	口頭試問	<ul style="list-style-type: none"> ・入学志望書をもとに、国際化や多文化共生に関する知識や思考力を評価している。 ・知識や思考力がより適切に評価できる方法を検討(改善)していく。
	面接	<ul style="list-style-type: none"> ・入学後の学びの目的や高校での活動などを質問し、表現力、学びへの意欲、協働性を評価している。 ・思考力、表現力、主体性、協働性がより適切に評価できる方法を検討(改善)していく。
	書類審査	<ul style="list-style-type: none"> ・調査書の評定値、入学志望書から主体性・協働性を評価している。
指定校推薦	口頭試問	<ul style="list-style-type: none"> ・国際化や多文化共生に関する知識や思考力を評価している。 ・知識や思考力がより適切に評価できる方法を検討(改善)していく。
	面接	<ul style="list-style-type: none"> ・学科での学びへの意欲、協働性を評価している。 ・思考力、表現力、主体性、協働性がより適切に評価できる方法を検討(改善)していく。
	書類審査	<ul style="list-style-type: none"> ・調査書の評定値、指定校推薦書、入学志望書から主体性・協働性を評価している。
専門高校	小論文	<ul style="list-style-type: none"> ・訪日外国人観光客の増加を題材に、図表や統計資料を読み取る能力を評価している。 ・知識や思考力、表現力をより適切に評価できる方法を検討(改善)していく。
	面接	<ul style="list-style-type: none"> ・入学後の学びの目的や高校での活動などを質問し、表現力、学びへの意欲、協働性を評価している。 ・思考力、表現力、主体性、協働性がより適切に評価できる方法を検討(改善)していく。
	加点評価	<ul style="list-style-type: none"> ・指定する資格を取得している場合は、加点評価している。 ・受験生の能力をより適切に評価できる方法を検討(改善)していく。
	書類審査	<ul style="list-style-type: none"> ・調査書の評定値、入学志望書から主体性・協働性を評価している。
一般選抜	(総括)	<ul style="list-style-type: none"> ・学力検査は、アドミッションポリシーに求める能力を評価している。 ・受験を要する教科・科目を検討(改善)していく。
I	学力検査	<ul style="list-style-type: none"> ・「国語」の近代以降の文章では、川端康成の『篝火』を読んで内容を把握する力を、古文では、『古本説話集』を題材に、内容把握と文法の理解力を評価している。 ・「英語」では、AIと医療との関係を記したレポート等を題材に、読解力や、語彙・文法力およびリスニング力を評価している。 ・「数学Ⅰ、数学A」では、因数分解・場合の数・図形の性質等を出題し、基本的な計算能力や知識・思考力を評価している。
	調査書	<ul style="list-style-type: none"> ・評価点数には加えないが、高校での資格取得や学修状況を参考としている。
II	学力検査	<ul style="list-style-type: none"> ・共通テストから3科目を課すことで、志願者の学力を評価している。

	調査書	・評価点数には加えないが、高校での資格取得や学修状況を参考としている。
Ⅲ	学力検査	・共通テストから3科目を課すことで、志願者の学力を評価している。
	調査書	・評価点数には加えないが、高校での資格取得や学修状況を参考としている。
社会人選抜	(総括)	・受験者がいなかったことから特記なし。
	小論文	・特記なし
	面接	・特記なし
	書類審査	・特記なし
帰国生徒選抜	(総括)	・受験者がいなかったことから特記なし。
	小論文	・特記なし
	面接	・特記なし
	書類審査	・特記なし
留学生選抜	(総括)	・受験者がいなかったことから特記なし。
	小論文	・特記なし
	面接	・特記なし
	書類審査	・特記なし

自己評価等報告書

(評価対象)

実施機関名	国際コミュニケーション学科	代表者氏名	学科長
評価年度	令和6年度	作成者氏名	学科長

(実施機関の使命と現状)

<p>カリキュラム・ポリシー及び ディプロマ・ポリシー 又は設置趣旨</p>	<p>カリキュラム・ポリシー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学のカリキュラム・ポリシーに基づき、全学科共通の教養教育科目と専門領域に対応した専門教育科目によりカリキュラムを編成・実施します。 (編成) ・4つの専門領域(「現代社会」、「文化交流」、「英語」、「東アジア言語」)を編成します。 ・専門教育科目は、段階的に知識や実践力を身につけるため、「領域共通科目」と「領域専門科目」に分けて、年次や学期が進むにつれて発展的な内容になるよう編成します。 ・領域共通科目は、各領域での学びを概観する領域入門科目と、すべての領域に共通して、国際社会や地域社会の課題に取り組むために必要となる知識や実践力を身につけるための領域基礎科目で編成します。 (実施) ・講義や演習、協働作業や発表等を適切に組み合わせて実施します。 ・1年次後期から、4つの専門領域のいずれかに所属し、他の領域の科目も履修しながら、国際社会や地域社会の発展や問題解決に資する力を身につけます。 ・地域企業等でインターンシップを行う「産業・地域振興人材研修」や「海外演習」など、地域等との交流を通じて自身のキャリアデザインを描くため、地域と連携した授業を実施します。 (評価) ・シラバスに明示した評価方法(定期試験・レポート・プレゼンテーションなど)と、各科目で設定した到達目標への到達度とで評価します。 <p>ディプロマ・ポリシー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバルな視点を養いつつ、地域社会に根ざした実践教育を通じ、さまざまな文化的背景を持つ人々と円滑にコミュニケーションを取りながら、協働してよりよい地域社会をつくっていく際に中心的な役割を果たすことのできる人材の育成を目指します。そのために必要な専門分野を現代社会、文化交流、英語、東アジア言語の4領域とし、領域を横断しながら学びます。この目標を満ちし、各領域の定める力や姿勢を身につけた人材に対し、「短期大学士(国際コミュニケーション学)」の学位を授与します。 現代社会領域：地域や世界が抱える諸課題の解決や、地域や世界の持続的な発展のための行動に必要な知識とスキルを身につけ、活用することができる。 文化交流領域：さまざまな国や地域の文化や価値観に対する知識と、それを尊重する姿勢を身につけ、コミュニケーションの場で中心的な役割を果たすことができる。 英語領域：世界共通語とされる英語の実践力を身につけ、さまざまな情報や自らの意見を、国際的な場面や地域社会に向けて発信することができる。 東アジア言語領域：隣国であり人的往来が最も多い中国、韓国の言語や日本語を、国内外でのコミュニケーションのために使用し、観光や外国人支援などの場で中心的な役割を果たすことができる。 <p>アドミッション・ポリシー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな文化的背景をもった人々と協働し、地域と世界のつながりを意識しながらその持続的な発展のために行動する意欲をもった者の入学を求めています。日本を含むさまざまな国や地域の社会・文化について深く学ぶ意欲、コミュニケーションの手段としての英語や中国語・韓国語の習得に対する意欲をもった学生を歓迎します。
<p>現状説明</p>	<p>カリキュラム・ポリシーの適合性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポリシーに「実施」「編成」「評価」の各考え方を明文化した。 ・シラバスを策定し、授業を実施した。【受講者数】 ・GPA平均は、2.79(R5卒業生は英語英文2.74、国際文化2.89)【GPAの状況】 <p>→ シラバスの記載内容を学科で点検し、ポリシーとの整合性を確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学ぶ能力を高めるため、コンソーシアム岐阜の地域課題解決提案事業、SPARC関連事業に参画した。

	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の領域選択を支援するため、ガイダンスを実施した。 <p>ディプロマ・ポリシーの適合性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・56人に短期大学士を授与。【卒業生の状況】 ・能力を自己点検するため検定等を奨励した。【検定等の取得状況】 ・主体的な学びの関心度は、88.2%(R5は英語英文100%、国際文化97.5%) <p style="text-align: right;">【卒業時アンケート】</p> <p>→・卒業生アンケート結果を学科会議で共有・検討し、カリキュラムの充実の参考にした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休学者や退学者を減らすため、学生の学修生活状況に応じて、面談や補講を実施した。 <p>アドミッション・ポリシーの適合性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R7入学生は、48人(志願者82人)【入学生の状況】 ・本学科を希望した理由の第1位は、「学びたい環境・カリキュラムがある。」(R6は「学びたい環境・カリキュラムがあるから」)【新入生アンケート】 <p>→・入学選抜方法を見直した。</p> <p>学生満足度を向上する取組み(【R6学長方針事項】含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学修ポートフォリオにより、学生一人ひとりの学修の方向性や進路を把握することで、学生の現状確認を支援できた。 <p>【R5認証評価機関指摘事項】教員活動データベース点検評価結果を活用すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価結果を各教員に通知するとともに、必要に応じて学科長から面談等で、指導支援することとした。 <p>【R6学長改善指示】領域制、領域共通科目等導入の成果を点検すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・領域間の関連性を高めて、学科の教育目標をより達成するため、R8年度から3領域(現代社会、文化交流、外国語)にすることにした。 <p>【R6学長改善指示】岐阜学入門の成果を点検すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年次後期以降の産業・地域振興人材研修やコンソーシアム岐阜の地域課題解決提案事業、SPARC関連事業への学生の参画につながった。 <p>【R6自己評価委員会助言】カリキュラムの魅力づくりと情報発信に努めること</p> <p>【R6学長方針事項】教育研究活動の魅力を再検討し、広報すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四年制大学に劣らない語学能力を獲得する授業や、語学とフィールドワーク、ICT教育との連携による実践教育を行っていることを魅力とする広報を始めた。 <p>【R6学長方針事項】教育研究活動に地域課題を組み込むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜市内の外国人住民の研究や、情報技術を活用した地域文化の情報発信の研究に取り組み、その成果を授業に組み込んだ。 <p>【R6学長方針事項】経営、起業を意識した授業計画に取り組むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業間での知識移転の研究や、市立岐阜商業高校との高大連携の成果を、今後の学科の授業計画に取り組むことにしている。 <p>その他の教学の内部質保証の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学科長が授業アンケートの自由記述に記された指摘・要望(同様なものが複数ある場合)の対応方針を担当教員から報告を受け確認した。
--	--

(令和6年度重点目標の達成状況)

重点目標	1. 国際コミュニケーション学科の定員を充足する。
達成状況	・入学定員を充足できなかった。充足率53.3%(R6は55.6%)【入学生の状況】
改善事項及び成果	<p>1-1. 学科の教育研究活動の魅力を再度検討し、広報する。【R6学長方針事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四年制大学に劣らない語学能力を獲得する授業や、語学とフィールドワーク、ICT教育との連携による実践教育を行っていることを魅力とする広報を始めた。 <p>1-2. 各入学試験の特色を高校、受験生に広報する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合型選抜入学試験Iの志願者の増加や、学校推薦型(専門校)への志願者があった。今後は他の入学試験での志願者増加も図る。 <p>1-3. 学科のカリキュラム・ポリシーに教育課程の実施に関する基本的な考え方を示す(教育の実施方法を記載する)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポリシーに「実施」「編成」「評価」の各考え方を明文化した。
根拠資料	【統計資料】
次年度の課題と	・定員を充足する。

改善策	→・本学 Web 情報利用者の減、志願者増の開拓のため、学生目線の魅力ある情報発信と岐阜地域以外(東濃、尾張、北陸等)での広報活動を推進する。 ・カリキュラム内容を重視する志願者が増えてきているため、教育・研究・地域連携活動の情報をさらに広報し、活動の魅力化・特色化を進める。
-----	---

(令和7年度重点目標と方策)

重点目標	1. 定員を充足する。 2. 海外(在留外国人)オンライン交流を企画する【R7 学長方針事項】
方策	1-1. 引き続き、学科の教育研究活動の魅力や各入学試験の特色を広報する。 1-2. 北陸地方(福井、富山)や東濃、尾張、三河地域への広報を行う。 2. 協定を結んでいる海外の大学との交流を企画する。

※適宜枠を広げて記入してください。ただし、2枚を越えないように作成してください。

※資料は、表題を記して別途添付してください。

統計資料(国際コミュニケーション学科)

1. カリキュラム・ポリシー指標

(専門教育科目の受講者数) 単位：人 () は、他学科履修生の内数
(英語英文学科開講分)

分野	授業科目	単位数	年次	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
実用英語	ライティングⅠ	1	1	50	37	27		
	ライティングⅡ	1	1	49	37	26		
	ライティングⅢ	1	2	48	52	34	26	
	ライティングⅣ	1	2	47	54	35	26	
	英文法Ⅰ	1	1	50	37	27		
	英文法Ⅱ	1	1	49	38	26		
	オーラル・イングリッシュⅠ	1	1	50	37	27		
	オーラル・イングリッシュⅡ	1	1	49	37	26		
	オーラル・イングリッシュⅢ	1	2	37	48	32	23	
	オーラル・イングリッシュⅣ	1	2	16	42	12	12	
	リーディングⅠ	1	1	50	37	27		
	リーディングⅡ	1	1	49	37	26		
	リーディングⅢ	1	2	45	51	33	25	
	リーディングⅣ	1	2	20	27	19	13	
	エクステンシブ・リーディング	1	1		9	11		
	英会話AⅠ	1	1	50	37	27		
	英会話AⅡ	1	1	49	37	26		
	英会話BⅠ	1	1	40	27	17		
	英会話BⅡ	1	1	35	16	6		
	英会話AⅢ	1	2	48	52	34	27	
	英会話AⅣ	1	2	48	53	35	27	
	英会話BⅢ	1	2	39	21	14	14	
	英会話BⅣ	1	2	21	19	8	9	
	海外英語演習	2	1・2	0	0	10	0	
	ビジネス・イングリッシュ	1	2	47	48	32	24	
	タッチタイピング演習	1	1	39				
	英語情報教育演習	1	1	34	24	26		
	英語論文演習	1	2	33	32			
	アカデミック・イングリッシュⅠ	1	1		29	21		
	アカデミック・イングリッシュⅡ	1	1		14	11		
	アカデミック・イングリッシュⅢ	1	2			9	19	
	インターネット・イングリッシュ	1	2	18	15	22	13	
検定英語演習Ⅰ	1	1	45	37	19			
検定英語演習Ⅱ	1	1	40	35	18			
英文購読	イギリス文学講読Ⅰ	1	1	49	37	27		
	イギリス文学講読Ⅱ	1	1	49	38	24		
	アメリカ文学講読Ⅰ	1	1	39	36	27		
	アメリカ文学講読Ⅱ	1	1	45	25	26		
	アカデミック・イングリッシュⅠ	1	1	50				
	アカデミック・イングリッシュⅡ	1	1	26				
英米関係講義	イギリス文学史	2	2	37	47	32	27	
	イギリス文化論	2	2	47	50	33	17	
	英語学概論Ⅰ	2	1	42	43	26	1	
	英語学概論Ⅱ	2	1	29	39	25	1	
	英語コミュニケーション論Ⅰ	2	2	50		34	26	
	英語コミュニケーション論Ⅱ	2	2	49		32	23	

	英語レトリック概論	2	2	35				
	英語圏社会と文化	2	2		32	35	25	
	現代アメリカ事情	2	2	43	52	33	27	
	英語教育学概論	2	2	32	35	24	20	
参加型科目	英語コミュニケーション研究Ⅰ	2	2	11	8	6	4	
	英語コミュニケーション研究Ⅱ	2	2	11	9	6	4	
	アメリカ文学研究Ⅰ	2	2	8	5		6	
	アメリカ文学研究Ⅱ	2	2	8	5		6	
	イギリス文学研究Ⅰ	2	2	9	14	13	5	
	イギリス文学研究Ⅱ	2	2	9	14	13	5	
	英語学研究Ⅰ	2	2	6	6	4	6	
	英語学研究Ⅱ	2	2	6	6	4	6	
	英語習得研究Ⅰ	2	2	10	12	7	4	
	英語習得研究Ⅱ	2	2	9	13	7	4	
	アメリカ社会研究Ⅰ	2	2	4	7	4	1	
	アメリカ社会研究Ⅱ	2	2	4	6	5	1	
	インターンシップ	1	1	0	0	0		

(国際文化学科開講分)

分野	授業科目	単位数	年次	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
異文化の理解	比較文化論	2	2	67	59	42	46	
	多文化共生論	2	1		43	45	2	
	文化人類学	2	2	55	0	28	34	
	日本文化論	2	1	60	44(1)	44		
	民俗学	2	2	34	31	28	12	
	アジア文化論	2	1	60	37	48		
	中国文化論	1	1	55	32	29		
	韓国文化論	1	1	42	27	29		
	英米文化論	2	2	60	0	42	38	
	ヨーロッパ文化論	2	2	49	32	28	44	
	文化交流論	2	2	20	25	29(2)	15	
	日本文学論	2	1	34(2)	28	33(1)		
	比較文学論	2	2	36	27	33	41	
	国際関係論	2	1	59	26	47		
国際協力論	2	2	56	48	39	41		
情報・言語 コミュニケーション科目	異文化コミュニケーション	2	2	77	60	42	47	
	情報社会論	2	2	8	12			
	英会話Ⅰ	1	1	60				
	英会話Ⅱ	1	1	59				
	英会話Ⅲ	1	2	24	51			
	英会話Ⅳ	1	2	8	25			
	カレッジ・イングリッシュⅠ	1	1		35	37		
	カレッジ・イングリッシュⅡ	1	1		28	17		
	カレッジ・イングリッシュⅢ	1	2		0	18	21	
	カレッジ・イングリッシュⅣ	1	2		0	11	11	
	海外言語・文化演習(英語圏)	1		0	0	14	0	
	海外言語・文化演習(韓国)	1		0	0	0	3	
	海外言語・文化演習(中国語圏)	1		0	0	0	4	
	初級中国語Ⅰ	1	1	52	37	41		
初級中国語Ⅱ	1	1	51	32	45			
中級中国語Ⅰ	1	2	65	29	29	31		

	中級中国語Ⅱ	1	2	27	15	27	14	
	応用中国語Ⅰ	1	2	38	31(1)	13	18	
	応用中国語Ⅱ	1	2	24	0	14	12	
	初級中国語会話Ⅰ	1	1	55	37	34		
	初級中国語会話Ⅱ	1	1	52	33	33		
	中級中国語会話Ⅰ	1	2	62	27	28	30	
	中級中国語会話Ⅱ	1	2	46	14	28	14	
	韓国語(入門Ⅰ)	1	1	53	37(3)	38		
	韓国語(入門Ⅱ)	1	1	41	28(2)	30		
	韓国語(会話Ⅰ)	1	2	28	23	19	21	
	韓国語(会話Ⅱ)	1	2	17	11	13	12	
	韓国語(文法・読解Ⅰ)	1	1	36	19	38		
	韓国語(文法・読解Ⅱ)	1	2	25	18	16	19	
	情報処理概論	2	1	60				
	情報科学概論	2	1		43			
	情報・統計処理	1	1			33		
	認知情報処理	1	1		17			
	情報処理演習Ⅰ(表現)	1	1	59				
	情報処理演習Ⅰ(関数)	1	1	59				
	情報処理演習Ⅱ(応用)	1	2	23	46			
	情報処理演習Ⅲ(発展)	1	2	23	17			
	やさしい日本語(作文)	1	2				27	
	日本語表現法Ⅰ	1	1	60	43	44		
	日本語表現法Ⅱ	1	1	41	34	28		
関連科目	現代国際事情	2	1	35				
	国際経済論	2	2	22	20(1)	24	33	
	人間関係論	2	1	39	40	21		
	観光論	2	2	72	49	38	41(1)	
	ホテル論	2	1	51(2)	37	38		
専門演習	専門演習	2	2	77	59	42	48	
卒業研究	卒業研究	2	2	77	60	46	43	

(国際コミュニケーション学科開講分)

区分	科目	単位数	年次	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)
領域共通	国際コミュニケーション概論	2	1	69	51			
	日本文化論	2	1	94(24)	53(2)			
	中国文化論	1	1	39	28			
	グローバル化論	2	1	80(15)	20(2)			
	サステナブル社会論	2	1	55	14			
	多文化共生社会論	2	2		70(12)			
	観光概論	2	2		33			
	第二言語習得論	2	2		32			
	地域研究概論	2	2		23			
	比較宗教学	2	2		11			
	ホテル論	2	2		27			
	英語コミュニケーションⅠ	1	1	50				
	英語コミュニケーションⅠa	1	1		33			
	英語コミュニケーションⅠb	1	1		27			
	英語コミュニケーションⅡ	1	1	42	19			
	英語表現Ⅰ	1	2		23			

	英語表現Ⅱ	1	2		5		
	検定英語演習Ⅰ	1	1	52	35		
	検定英語演習Ⅱ	1	2		24		
	初級中国語Ⅰ	1	1	42	41		
	初級中国語Ⅱ	1	1	40	38		
	初級韓国語Ⅰ	1	1	55	39		
	初級韓国語Ⅱ	1	1	34	24		
	日本語表現法Ⅰ	1	1	49	31		
	日本語表現法Ⅱ	1	1	23	25		
	フランス語Ⅰ	1	1	21	11		
	フランス語Ⅱ	1	1	13	8		
	情報・統計処理	1	1	63	49		
	AIプログラミング基礎	1	2		13		
	海外言語・文化演習(英語圏)	1	1	12	0		
	海外言語・文化演習(中国語圏)	1	1	4	0		
	海外言語・文化演習(韓国)	1	1	8	13		
	産業・地域振興人材研修	1	1	5	7		
	地域実践演習	2	2		63		
現代社会領域	社会調査論	2	1	21	13		
	近現代の世界	2	1	45	32		
	国際関係概論	2	2		20(2)		
	現代企業事情	2	2		44		
	世界が見る日本	2	2		27		
	地域振興論	2	2		32		
	国際協力論	2	2		51		
文化交流領域	英語圏文化・社会	2	1	31	29		
	アジア文化論	2	1	30	28		
	韓国文化論	1	1	35	16		
	ヨーロッパ文化論	2	2		32		
	中国文化受容論	2	2		33		
	異文化コミュニケーション	2	2		52		
	英語表象文化	2	2		22		
	文化交流論	2	2		22		
英語領域	English Conversation	1	1	29	12		
	English Discussion	1	2		21		
	English Presentation	1	2		22		
	メディアイングリッシュⅠ	1	1	26	22		
	メディアイングリッシュⅡ	1	2		7		
	メディアイングリッシュⅢ	1	2		7		
	パラグラフライティング	1	1	33	17		
	エッセイライティング	1	2		21		
	アカデミックライティング	1	2		7		
	インテンシブリーディング	1	1	25	19		
	アドバンストリーディング	1	2		10		
	観光英語	1	2		3		
	英語コミュニケーション論	2	2		29		
	英語のしくみⅠ	1	2		22		
	英米文学	2	2		23		
東アジア言語領域	中国語(文法・読解)	1	1	14	21		
	中国語(会話)	1	2		17		
	観光中国語	1	2		11		

現代中国論	2	2		29		
韓国語（文法・読解）	1	1	18	15		
韓国語（会話）	1	2		17		
観光韓国語	1	2		9		
現代韓国論	2	2		11		
日本語教授基礎理論	2	1	39	35		
「やさしい日本語」作文	1	2		20		
日本文学概論	2	2		61		

(授業の成果 GPA の状況 国際コミュニケーション学科) 留年生を除く

区分	区分	入学年度	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
(英語英文)	GPA	1 年次	2.76	2.93	2.64			
	平均点	2 年次	2.73	2.98	2.85			
		総合	2.70	2.95	2.74			
		基準最高点	4.0	4.0	4.0			
(国際文化)	GPA	1 年次	2.98	3.12	2.83			
	平均点	2 年次	2.98	2.99	2.95			
		総合	2.97	3.05	2.89			
		基準最高点	4.0	4.0	4.0			
国際コミュニケーション	GPA	1 年次				2.76		
	平均点	2 年次				2.82		
		総合				2.79		
		基準最高点				4.0		

※留年生(休学者)、留学者を除く

(学外授業等の状況 国際コミュニケーション学科) 単位：件

学科	区分	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
(英語英文)	学外授業(見学)	1	1	1	0		
	海外研修	0	0	1	0		
	地域連携授業	0	0	1	2		
(国際文化)	学外授業(見学)	1	3	1	0		
	海外研修	0	0	1	2		
	地域連携授業	2	2	3	2		
国際コミュニケーション	学外授業(見学)				1	1	
	海外研修				3	1	
	地域連携授業				0	3	

※学生が参加する授業

2. ディプロマ・ポリシー指標

(卒業生の状況 国際コミュニケーション学科) 単位：人

学科	区分	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
(英語英文)	卒業予定者	48	53	35	26		
	就職希望者(就職率)	30(100%)	33(97.0%)	18(100%)	16(93.8%)		
	進学希望者(進学率)	14(71.4%)	19(94.7%)	16(100%)	8(87.5%)		
	未進路者	4	1	1	4		
	休学者	8	3	4	2		
	復学者	7	6	2	3		
	留年者	1	1	4	2		
	退学・除籍者	1	1	1	0		
(国際文化)	卒業予定者	77	60	37	43		
	就職希望者(就職率)	50(98.0%)	47(95.7%)	26(96.3%)	25(100%)		
	進学希望者(進学率)	27(55.6%)	7(100%)	10(60.0%)	17(64.7%)		
	未進路者	0	6	1	7		
	休学者	1	1	2	2		
	復学者	3	1	1	0		
	留年者	0	0	4	3		
	退学・除籍者	0	0	3	1		
国際コミュニケーション	卒業予定者					56	
	就職希望者(就職率)					41(100%)	
	進学希望者(進学率)					13(84.6%)	
	未進路者					2	
	休学者				0	5	
	復学者				0	0	
	留年者				0	1	
	退学・除籍者				2	2	

(語学系 検定等の取得状況 国際コミュニケーション学科)

学科	区分	卒業年度	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
(英語英文)	TOEIC 平均点	入学年度	410点	412点	485点	397点	363点	
		卒業年度	547点	525点	619点	544点	735点	
		上昇点数	137点	113点	134点	147点	372点	
	実用英語 技能検定	準1級	1人	2人	2人	1人		
		準2級	40人	41人	26人	14人		
		2級以上取得率	85.4%	81.1%	77.1%	62.5%		
(国際文化)	中国語検定	2級	1人	0人	0人	0人		
		3級	3人	3人	3人	3人		
		4級	2人	1人	5人	7人		
		準4級	16人	16人	13人	12人		
	HKS 漢語水平考試	6級	0人	0人	1人	0人		
		5級	7人	0人	3人	0人		
		4級	3人	0人	2人	3人		
		2級	1人	0人	0人	0人		
	ハングル検定	2級	0人	0人	0人	0人	1人	
		準2級	1人	0人	0人	0人		
		3級	1人	0人	1人	0人		
		4級	0人	0人	0人	0人		
		5級	0人	0人	1人	0人		
	TOPIK 韓国語能力試験	6級	1人	0人	0人	0人	1人	
5級		0人	2人	1人	4人			

		4級	0人	1人	1人	0人		
		3級	1人	0人	0人	0人		
		2級	0人	1人	1人	1人		
国際コミュニケーション	TOEIC 平均点	2年生				449点	450点	
		1年生				438点	515点	
	実用英語 技能検定	準1級				0人	0人	
		準2級				0人	0人	
		2級以上取得率				%	%	
	中国語検定	2級				0人	0人	
		3級				0人	2人	
		4級				3人	0人	
		準4級				0人	5人	
	HKS 漢語水平考試	6級				0人	0人	
		5級				0人	1人	
		4級				1人	0人	
		3級				1人	0人	
		2級				0人	0人	
	ハンゲル検定	準2級				0人	0人	
		3級				0人	1人	
		4級				0人	2人	
		5級				0人	0人	
	TOPIK 韓国語能力試験	6級				0人	0人	
		5級				0人	2人	
4級					2人	2人		
3級					1人	1人		
2級					1人	3人		

(情報系 検定等の取得状況 国際コミュニケーション学科) ()は受験者に対する合格率

学科	区分	卒業年度	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
(英語英文)	情報処理 技能検定 (表計算)	1級	4人 (57.1%)	0人 (0%)	1人 (50%)	1人 (50%)		
		準1級	12人 (75.0%)	3人 (75.0%)	0人 (0%)	0人 (0%)		
		2級	23人 (76.6%)	11人 (55.0%)	24人 (96.0%)	0人 (0%)		
(国際文化)	日本語 ワープロ検定	1級	4人 (80.0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)		
		準1級	2人 (40.0%)	3人 (75.0%)	0人 (0%)	0人 (0%)		
		2級	18人 (51.4%)	11人 (55.0%)	11人 (42.3%)	11人 (43.5%)		
	情報処理 技能検定 (表計算)	1級	3人	10人	0人	0人 (0%)		
		準1級				0人 (0%)		
		2級	29人	33人	0人	0人 (0%)		
	情報処理 技能検定 (データベース)	1級	1人	0人	0人	0人 (0%)		
		2級	0人	0人	0人	0人 (0%)		
	日本語 ワープロ検定	1級	2人	4人	0人	0人 (0%)		
準1級		2人	4人	0人	0人			

						(0%)		
	2級	12人	9人	0人	0人	(0%)		
	準2級	29人	18人	0人	0人	(0%)		
	ホームページ 検定	1級	10人	7人	0人	0人	(0%)	
	文書デザイン 検定	1級	6人	17人	0人	0人	(0%)	
		2級	0人	0人	0人	0人	(0%)	
	プレゼンテーション 検定	1級	4人	13人	0人	0人	(0%)	
国際コミュニケーション	ITサポート					1人 (100%)	0人 (0%)	

(専門教育科目の勉学意欲 卒業時アンケート結果 国際コミュニケーション学科)

学科	項目	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
(英語英文)	増した	65.2%	67.4%	70.6%	61.5%		
	少し増した	28.3%	28.3%	26.5%	38.5%		
	あまり変わらない	6.5%	4.3%	2.9%	0%		
(国際文化)	増した	45.5%	35.0%	68.4%	60.0%		
	少し増した	44.2%	46.7%	26.3%	37.5%		
	あまり変わらない	10.4%	18.3%	5.3%	2.5%		
国際コミュニケーション	増した					44.1%	
	少し増した					44.1%	
	あまり変わらない					11.9%	

※Q：専門教育科目のカリキュラムについて、全体として勉学への意欲・興味・関心などが促されましたか。

3. アドミッション・ポリシー指標

(入学者の状況 国際コミュニケーション学科) 単位：人

学科	区分	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
(英語英文)	定員(充足率)	50(100)	50(74.0)	50(52.0)				
	入学者(志願者)	50(122)	37(83)	26(66)				
	総合型選抜	14(17)	10(10)	6(6)				
	学校推薦型選抜	9(10)	11(12)	6(6)				
	社会人等選抜	0(1)	0(0)	0(1)				
	一般選抜	27(94)	14(61)	14(53)				
(国際文化)	定員(充足率)	60(100)	60(71.7)	60(73.3)				
	入学者(志願者)	60(157)	43(89)	44(78)				
	総合型選抜	5(8)	3(4)	11(11)				
	学校推薦型選抜	31(40)	19(19)	17(17)				
	社会人等選抜	0(0)	0(0)	0(0)				
	一般選抜	24(109)	21(66)	16(50)				
国際コミュニケーション	定員(充足率)				90(71.1)	90(55.6)	90(53.3)	
	入学者(志願者)				64(112)	50(83)	48(82)	
	総合型選抜				15(15)	22(23)	23(29)	
	学校推薦型選抜				27(27)	13(13)	8(8)	
	社会人等選抜				0(0)	0(0)	0(0)	
	一般選抜				22(70)	15(47)	17(45)	

(広報活動の状況 国際コミュニケーション学科) 単位:件 オープンキャンパスは学園祭除く

	区分	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
(英語英文)	オープンキャンパス	37 人/2 回	61 人/3 回				
	進学ガイダンス	3 会場	3 会場				
	高校訪問	24 校	19 校				
	SNS 投稿 (YouTube)	0 件	1 件				
	SNS 投稿 (Instagram)	0 件	14 件				
(国際文化)	オープンキャンパス	51 人/2 回	73 人/3 回				
	進学ガイダンス	2 会場	10 会場				
	高校訪問	0 校	22 校				
	SNS 投稿 (YouTube)	0 件	1 件				
	SNS 投稿 (Instagram)	0 件	4 件				
国際コミュニケーション	オープンキャンパス			132 人/3 回	97 人/3 回	96 人/4 回	
	進学ガイダンス			6 会場	8 会場	9 会場	
	高校訪問			17 校	40 校	28 校	
	SNS 投稿 (YouTube)			4 件	4 件	4 件	
	SNS 投稿 (Instagram)			27 件	46 件	29 件	

(本学を希望した理由 新入生アンケート結果 国際コミュニケーション学科) 複数回答可

学科	理由	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)
(英語英文)	短期に一般教養や専門知識・技術を身につける	12.0%	13.5%	10.5%				
	資格をとる	8.0%	11.7%	15.8%				
	自分が学びたいことが学べる環境・カリキュラム	25.6%	22.5%	19.7%				
	4大の3年次編入や専門学校などへの選択ができる	20.0%	24.3%	22.4%				
	卒業後の就職に有利	8.0%	7.2%	7.9%				
	公立	26.4%	20.7%	23.7%				
(国際文化)	短期に一般教養や専門知識・技術を身につける	11.9%	19.1%	16.8%				
	資格をとる	13.6%	10.3%	13.6%				
	自分が学びたいことが学べる環境・カリキュラム	24.4%	25.0%	28.8%				
	4大の3年次編入や専門学校などへの選択ができる	13.6%	14.0%	16.0%				
	卒業後の就職に有利	11.4%	5.2%	4.0%				
	公立	25.0%	25.7%	20.8%				
国際コミュニケーション	短期に一般教養や専門知識・技術を身につける				14.7%	14.7%	20.4%	
	資格をとる				10.9%	11.6%	10.6%	
	自分が学びたいことが学べる環境・カリキュラム				25.6%	31.6%	23.0%	
	4大の3年次編入や専門学校などへの選択ができる				15.4%	15.8%	17.7%	
	卒業後の就職に有利				7.1%	5.3%	4.4%	
	公立				26.3%	20.0%	22.1%	

4. 地域貢献活動

(教員の地域貢献活動の状況 国際コミュニケーション学科) 単位：件

学科	区分	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
(英語英文)	公開講座	0	3	1			
	出前・出張講座	2	0	0			
	地域連携活動	0	0	0			
	行政等審議会議員派遣	0	0	0			
(国際文化)	公開講座	0	1	2			
	出前・出張講座	2	1	0			
	地域連携活動	1	1	1			
	行政等審議会議員派遣	1	2	3			
国際コミュニケーション	公開講座				3	5	
	出前・出張講座				3	8	
	地域連携活動				3	3	
	行政等審議会議員派遣				2	6	

5. 研究活動

(外部資金獲得の状況 国際コミュニケーション学科) 単位：件

学科	区分	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
(英語英文)	科研費採択	1	1	3			
	奨学寄附金採択	0	0	0			
(国際文化)	科研費採択	4	2	3			
	奨学寄附金採択	0	0	1			
国際コミュニケーション	科研費採択				2	0	
	奨学寄附金採択				0	0	

自己評価等報告書

(評価対象)

実施機関名	健康栄養学科	代表者氏名	学科長
評価年度	令和7年度入試選抜	作成者氏名	学科長

(アドミッションポリシーと入試方法ごとの選抜方法の現状)

<p>・栄養士免許取得を目指す者を受け入れ、その者に対して栄養士になるための教育を施すことを基本方針としています。栄養士は食と栄養の専門家として専門性を発揮し、国民の栄養改善、健康増進、疾病予防など重要な役割を担い、国民の医療費削減に貢献することが期待されています。「健康・栄養・食」に関わる諸問題に関心がある者の入学を求めています。将来、栄養士となり、人々の健康・医療・福祉のために貢献したい強い意志を持っている学生を歓迎します。</p>																	
総合型選抜	<p>・人生100年時代、日本はいまや少子・高齢化社会を迎え、要介護者の増加に伴う介護費の増加や生活習慣病による国民医療費の増加などが社会問題となっています。このような時代、ますます社会から期待され、活躍の場が広がる栄養士。栄養士に関心のある学生の入学を期待しています。この入試では、アドミッションポリシーを十分に理解したうえ、栄養士を目指して人々の健康・医療・福祉のために貢献したい強い意志を持つ学生の選抜を行います。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>知識・技能</th> <th>思考力・判断力・表現力</th> <th>主体性・協働性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小論文</td> <td>◎</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td></td> </tr> <tr> <td>書類審査</td> <td></td> <td></td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">◎最重点評価項目 ○重点評価項目</p>	区分	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性	小論文	◎	○		面接	○	◎		書類審査			◎
区分	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性														
小論文	◎	○															
面接	○	◎															
書類審査			◎														
I	<table border="1"> <tr> <td>小論文</td> <td>・食・健康・環境問題などの話題について出題し、自分の考えを論述する能力などを問います。</td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td>・アドミッションポリシーを十分理解し、学習意欲や動機または必要な基礎的な知識を問います。</td> </tr> <tr> <td>書類審査</td> <td>・調査書、入学志望書、資格証書により評価します。実用英語技能検定準2級以上の証明書があれば、加点します。</td> </tr> </table>	小論文	・食・健康・環境問題などの話題について出題し、自分の考えを論述する能力などを問います。	面接	・アドミッションポリシーを十分理解し、学習意欲や動機または必要な基礎的な知識を問います。	書類審査	・調査書、入学志望書、資格証書により評価します。実用英語技能検定準2級以上の証明書があれば、加点します。										
小論文	・食・健康・環境問題などの話題について出題し、自分の考えを論述する能力などを問います。																
面接	・アドミッションポリシーを十分理解し、学習意欲や動機または必要な基礎的な知識を問います。																
書類審査	・調査書、入学志望書、資格証書により評価します。実用英語技能検定準2級以上の証明書があれば、加点します。																
学校推薦型選抜	<p>・勉学に対する意欲が旺盛で、本学の学科の専門分野に興味をもち、関連する学力や能力に秀でた学生、課外活動やコンテストなどに積極的に取り組み活動してきた学生、各種検定試験・資格取得などに積極的に取り組んだ学生を募集します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>知識・技能</th> <th>思考力・判断力・表現力</th> <th>主体性・協働性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小論文</td> <td>◎</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>書類審査</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">◎最重点評価項目 ○重点評価項目</p>	区分	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性	小論文	◎	○	○	面接	○	◎	○	書類審査			○
区分	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性														
小論文	◎	○	○														
面接	○	◎	○														
書類審査			○														
一般公募	<table border="1"> <tr> <td>小論文</td> <td>・英語・数学・国語・理科・社会の基礎学力を問う問題を含み、自分の考えを論述する能力などを問います。</td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td>・積極性や主体性、協働性を確認するため、課外活動、授業に取り組む姿勢、学びの習慣及び入学後の抱負などを問います。</td> </tr> <tr> <td>書類審査</td> <td>・調査書、推薦書、入学志望書により評価します。</td> </tr> </table>	小論文	・英語・数学・国語・理科・社会の基礎学力を問う問題を含み、自分の考えを論述する能力などを問います。	面接	・積極性や主体性、協働性を確認するため、課外活動、授業に取り組む姿勢、学びの習慣及び入学後の抱負などを問います。	書類審査	・調査書、推薦書、入学志望書により評価します。										
小論文	・英語・数学・国語・理科・社会の基礎学力を問う問題を含み、自分の考えを論述する能力などを問います。																
面接	・積極性や主体性、協働性を確認するため、課外活動、授業に取り組む姿勢、学びの習慣及び入学後の抱負などを問います。																
書類審査	・調査書、推薦書、入学志望書により評価します。																
指定校推薦	<table border="1"> <tr> <td>口頭試問</td> <td>・志望する学科のアドミッションポリシーに沿った知識・技能、思考力や自分の考えを表現する力を確認します。</td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td>・出願書類を参考に志望理由、学科への適正などを確認します。</td> </tr> <tr> <td>書類審査</td> <td>・調査書、指定校推薦書、入学志望書により評価します。</td> </tr> </table>	口頭試問	・志望する学科のアドミッションポリシーに沿った知識・技能、思考力や自分の考えを表現する力を確認します。	面接	・出願書類を参考に志望理由、学科への適正などを確認します。	書類審査	・調査書、指定校推薦書、入学志望書により評価します。										
口頭試問	・志望する学科のアドミッションポリシーに沿った知識・技能、思考力や自分の考えを表現する力を確認します。																
面接	・出願書類を参考に志望理由、学科への適正などを確認します。																
書類審査	・調査書、指定校推薦書、入学志望書により評価します。																
一般選抜	<p>・学科での教育に必要な総合的な基礎学力を持つ学生を募集します。</p> <table border="1"> <tr> <td>I</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>学力検査</td> <td>・学科で学ぶために必要な学力「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を判定するために、筆記試験により高等学校卒業程度の学力検査を行います。 (選択：「国語」「英語」「数学Ⅰ、数学Ⅱ」から2科目)</td> </tr> <tr> <td>調査書</td> <td>・評価点数に加えないが、高校での資格取得や学習成績の状況を確認します。</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	I	<table border="1"> <tr> <td>学力検査</td> <td>・学科で学ぶために必要な学力「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を判定するために、筆記試験により高等学校卒業程度の学力検査を行います。 (選択：「国語」「英語」「数学Ⅰ、数学Ⅱ」から2科目)</td> </tr> <tr> <td>調査書</td> <td>・評価点数に加えないが、高校での資格取得や学習成績の状況を確認します。</td> </tr> </table>	学力検査	・学科で学ぶために必要な学力「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を判定するために、筆記試験により高等学校卒業程度の学力検査を行います。 (選択：「国語」「英語」「数学Ⅰ、数学Ⅱ」から2科目)	調査書	・評価点数に加えないが、高校での資格取得や学習成績の状況を確認します。										
I	<table border="1"> <tr> <td>学力検査</td> <td>・学科で学ぶために必要な学力「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を判定するために、筆記試験により高等学校卒業程度の学力検査を行います。 (選択：「国語」「英語」「数学Ⅰ、数学Ⅱ」から2科目)</td> </tr> <tr> <td>調査書</td> <td>・評価点数に加えないが、高校での資格取得や学習成績の状況を確認します。</td> </tr> </table>	学力検査	・学科で学ぶために必要な学力「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を判定するために、筆記試験により高等学校卒業程度の学力検査を行います。 (選択：「国語」「英語」「数学Ⅰ、数学Ⅱ」から2科目)	調査書	・評価点数に加えないが、高校での資格取得や学習成績の状況を確認します。												
学力検査	・学科で学ぶために必要な学力「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を判定するために、筆記試験により高等学校卒業程度の学力検査を行います。 (選択：「国語」「英語」「数学Ⅰ、数学Ⅱ」から2科目)																
調査書	・評価点数に加えないが、高校での資格取得や学習成績の状況を確認します。																

II	学力検査	<ul style="list-style-type: none"> 大学入学共通テストの成績のみで、本学で学ぶために必要な基礎学力を「知識・技能」を中心に判定を行います。 (必須:「国語」「英語」 選択:「数学」「理科」「情報」から1科目) 																		
	調査書	<ul style="list-style-type: none"> 評価点数に加えないが、高校での資格取得や学習成績の状況を確認します。 																		
III	学力検査	<ul style="list-style-type: none"> 大学入学共通テストの成績のみで、本学で学ぶために必要な基礎学力を「知識・技能」を中心に判定を行います。 (必須:「国語」 選択:「外国語」「数学」「理科」「情報」から1科目) 																		
	調査書	<ul style="list-style-type: none"> 評価点数に加えないが、高校での資格取得や学習成績の状況を確認します。 																		
社会人選抜	<ul style="list-style-type: none"> すでに社会人としての経験を積み、あらためて短期大学で学び、教養を深めたい方、最新の専門的知識を得たい方を募集します、なお、他の学生に刺激を与え、相互に学習意欲を高め合うことも期待します。 																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>知識・技能</th> <th>思考力・判断力・表現力</th> <th>主体性・協働性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小論文</td> <td>◎</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>書類審査</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>				区分	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性	小論文	◎	○	○	面接	○	◎	○	書類審査			○
	区分	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性																
	小論文	◎	○	○																
	面接	○	◎	○																
書類審査			○																	
◎最重点評価項目 ○重点評価項目																				
小論文	<ul style="list-style-type: none"> 英語・数学・国語・理科・社会の基礎学力を問う問題を含み、自分の考えを論述する能力などを問います。 																			
面接	<ul style="list-style-type: none"> 積極性や主体性、協働性を確認するため、課外活動、授業に取り組む姿勢、学びの習慣及び入学後の抱負などを評価します。 																			
書類審査	<ul style="list-style-type: none"> 調査書、入学志望書により評価します。 																			
帰国生徒選抜	<ul style="list-style-type: none"> 勉学意欲が旺盛で、本学の学科の専門分野に興味を持ち、関連する能力に秀でた学生、異文化体験で身につけた様々な能力を持つ学生を募集します。 																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>知識・技能</th> <th>思考力・判断力・表現力</th> <th>主体性・協働性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小論文</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td></td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>書類審査</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>				区分	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性	小論文	◎	◎		面接	○	◎	◎	書類審査	○		○
	区分	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性																
	小論文	◎	◎																	
	面接	○	◎	◎																
書類審査	○		○																	
◎最重点評価項目 ○重点評価項目																				
小論文	<ul style="list-style-type: none"> 英語・数学・国語・理科・社会の基礎学力を問う問題を含み、自分の考えを論述する能力などを問います。 																			
面接	<ul style="list-style-type: none"> 積極性や主体性、協働性を確認するため、課外活動、授業に取り組む姿勢、学びの習慣及び入学後の抱負などを評価します。 																			
書類審査	<ul style="list-style-type: none"> 調査書、入学志望書により評価します。 																			
留学生選抜	<ul style="list-style-type: none"> 本学での授業を理解できる日本語能力があり、勉学意欲が旺盛な学生を募集します。日本人学生と積極的に交流して、日本人学生に外国語学習や異文化理解への動機付けをしてくれることも期待します。 																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>知識・技能</th> <th>思考力・判断力・表現力</th> <th>主体性・協働性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小論文</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td></td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>書類審査</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>				区分	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性	小論文	◎	◎		面接	○	◎	◎	書類審査	○		○
	区分	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性																
	小論文	◎	◎																	
	面接	○	◎	◎																
書類審査	○		○																	
◎最重点評価項目 ○重点評価項目																				
小論文	<ul style="list-style-type: none"> 英語・数学・国語・理科・社会の基礎学力を問う問題を含み、自分の考えを論述する能力などを問います。 																			
面接	<ul style="list-style-type: none"> 積極性や主体性、協働性を確認するため、課外活動、授業に取り組む姿勢、学びの習慣及び入学後の抱負などを評価します。 																			
書類審査	<ul style="list-style-type: none"> 調査書、入学志望書により評価します。 																			

(出題とアドミッションポリシーの対応自己点検)

(総括)
<ul style="list-style-type: none"> 選抜方法(出題)は、アドミッションポリシーに求める能力を評価しており整合している。 学力の3要素と試験科目の対照表を学生募集要項に記載し、評価する能力を可視化している。 評価の視点など受験生にわかりやすい記載を検討(改善)していく。

総合型選抜	(総括) ・小論文と面接は、アドミッションポリシーに求める能力を評価している。	
I	小論文	・生活習慣病に関する記事を題材に、食と栄養に関する基礎知識と思考力・表現力を評価している。
	面接	・栄養士を目指す理由や食と栄養に関する思考力を評価している。
	書類審査	・調査書、入学志望書、資格証書から主体性・協働性を評価している。 ・実用英語技能検定準2級以上の証明書があれば、加点評価している。
学校推薦型選抜	(総括) ・小論文と面接は、アドミッションポリシーに求める能力を評価している。 ・推薦書に、学力の3要素の視点ごとに記載するよう求めることで、評点の公平性、整合性を担保している。	
一般公募	小論文	・食・健康などに関する基礎的な英単語を問う問題や計算問題、食品の消費に関する知識や自分の考えを記述させることで思考力・表現力を評価している。
	面接	・課外活動、授業に取り組む姿勢、学びの習慣及び入学後の抱負などから、技能・積極性・主体性・協働性を評価している。
	書類審査	・調査書、推薦書、入学志望書から、主体的な学びや協働性を評価している。
指定校推薦	口頭試問	・食と栄養に関する知識や思考力を評価している。
	面接	・学科での学びへの意欲、思考力を評価している。
	書類審査	・調査書の評定値、指定校推薦書、入学志望書から主体性・協働性を評価している。
一般選抜	(総括) ・学力検査は、アドミッションポリシーに求める能力を評価している。	
I	学力検査	・国語の現代文では、川端康成の『篝火』を読んで内容を把握する力を、古文では、『古本説話集』を題材に、内容把握と文法の理解力を評価している。 ・英語では、AIと医療との関係を記したレポート等を題材に、読解力や、語彙・文法力およびリスニング力を評価している。 ・数学I・数学Aでは、因数分解・場合の数・図形の性質等の解及び思考過程を記述させることで、基本的な計算能力と知識・思考力を評価している。
	調査書	・評価点数には加えないが、高校での資格取得や学修状況を参考としている。
II	学力検査	・共通テストから3科目を課すことで、志願者の学力を評価している。
	調査書	・評価点数には加えないが、高校での資格取得や学修状況を参考としている。
III	学力検査	・共通テストから2科目を課すことで、志願者の学力を評価している。
	調査書	・評価点数には加えないが、高校での資格取得や学修状況を参考としている。
社会人選抜	(総括) ・小論文と面接は、アドミッションポリシーに求める能力を評価している。	
	小論文	・食・健康などに関する基礎的な英単語を問う問題や計算問題、食品の消費に関する知識や自分の考えを記述させることで思考力・表現力を評価している。
	面接	・課外活動、授業に取り組む姿勢、学びの習慣及び入学後の抱負などから、技能・積極性・主体性・協働性を評価している。

	書類審査	・調査書、推薦書、入学志望書から、主体的な学びや協働性を評価している。
帰国生徒選抜	(総括)	・受験者がいなかったことから特記なし。
	小論文	・特記なし
	面接	・特記なし
	書類審査	・特記なし
留学生選抜	(総括)	・受験者がいなかったことから特記なし。
	小論文	・特記なし
	面接	・特記なし
	書類審査	・特記なし

自己評価等報告書

(評価対象)

実施機関名	健康栄養学科	代表者氏名	学科長
評価年度	令和6年度	作成者氏名	学科長

(実施機関の使命と現状)

カリキュラム・ポリシー及び ディプロマ・ポリシー 又は設置趣旨	<p>カリキュラム・ポリシー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学のカリキュラム・ポリシーに基づき、全学科共通の教養教育科目と専門領域に対応した専門教育科目によりカリキュラムを編成・実施します。 (編成) ・2つの専門領域(「医療・福祉」、「食環境」)を編成します。 ・栄養士養成課程の法令に定められた「教養教育科目」と「専門教育科目」を基本にカリキュラムを編成します。 ・「医療・福祉領域」は、医療・福祉分野に必要な知識と技術を身につけ、病院・福祉施設での栄養改善、疾病の治療に貢献できる力を身につける科目を編成します。 ・「食環境領域」は、健康と食をつなぐ食品について幅広く学び、食に関連する多彩な地域活動を通して実践力を養う科目を編成します。 (実施) ・栄養専門職に必要なとされる専門知識や倫理観を養成するため、全学科共通の教養教育科目の履修により、幅広い教養を身につけると共に、栄養士免許の取得に必要な専門教育科目を履修します。 ・栄養に関する情報を収集・分析・活用する実践力を養うため、全学科共通の「情報科目」及び栄養に関する「情報科目」を履修します。 ・学修した知識を活用した能力を身につけるため、講義に加えて、講義に関連した実験・実習を実施します。 ・1年次後期から、2つの専門領域のいずれかに所属し、他の領域の科目も履修しながら、2年次には、自主的に研究を行う「地域実践演習(卒業研究)」を通じて、自律的に学ぶ力を養います。また、栄養士に必要な課題解決能力やコミュニケーション能力、並びに協調性などを身につけます。 ・地域企業等との「校外実習」など、地域等との交流を通じて自身のキャリアデザインを描くため、地域と連携した授業を実施します。 (評価) ・シラバスに明示した評価方法(定期試験・レポート・プレゼンテーションなど)と、各科目で設定した到達目標への到達度とで評価します。 <p>ディプロマ・ポリシー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会の要請に沿った質の高い栄養士の人材育成を目指します。医療・福祉領域、食環境領域の2領域とし、次に掲げる資質・能力を身につけた人材に対して、「短期大学士(健康栄養学)」の学位を授与します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養士の役割を理解し、高い倫理観と強い責任感・使命感をもって、行動できる。 2. 「健康・栄養・食」に関わる課題に対して、専門的知識および技術をもって、解決方法を探究できる。 3. 豊かな人間性をもって、他者と円滑なコミュニケーションができる。 4. 栄養の専門家として、生涯にわたり自律的に学び自己研鑽できる。 <p>アドミッション・ポリシー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養士免許取得を目指す者を受け入れ、その者に対して栄養士になるための教育を施すことを基本方針としています。栄養士は食と栄養の専門家として専門性を発揮し、国民の栄養改善、健康増進、疾病予防など重要な役割を担い、国民の医療費削減に貢献することが期待されています。「健康・栄養・食」に関わる諸問題に関心がある者の入学を求めています。将来、栄養士となり、人々の健康・医療・福祉のために貢献したい強い意志を持っている学生を歓迎します。
現状説明	<p>カリキュラム・ポリシーの適合性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポリシーに「実施」「編成」「評価」の各考え方を明文化した。 ・シラバスを策定し、授業を実施

	<p>した。【受講者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GPA 平均 2.68 (R5 卒業生は 2.61) 【GPA の状況】 <p>→ ・シバスの記載内容を学科会議で点検し、ポリシーとの整合性を確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学ぶ能力を高めるため、コンソーシアム岐阜の地域課題解決提案事業に参画した。 ・学生の領域選択を支援するため、専門教育科目「専門基礎演習(オムニバス形式)」のなかで、医療・福祉と食品企業・行政の職域に従事する(管理)栄養士の講師から、各領域における栄養士の将来像を学生に講義した。 <p>ディプロマ・ポリシーの適合性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・41 人に短期大学士を授与した。【卒業生の状況】 ・栄養士免許取得者は、40 人(R5 は 51 人)。【栄養士免許の取得状況】 ・主体的な学びの関心度は、97.6%(R5 は 89.5%) 【卒業時アンケート】 <p>→ ・卒業生アンケート結果を学科会議で共有・検討するとともに、学科長が所属教員に必要な指示をした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休学者や退学者を減らすため、学生の学修生活状況に応じて、面談や補講を実施した。 <p>アドミッション・ポリシーの適合性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R7 入学生は、48 人(志願者 77 人) 【入学生の状況】 ・本学科を希望した理由の第 1 位は、「短期に一般教養や専門知識・技術を身につける」(R6 は「資格がとれる」) 【新入生アンケート】 <p>→ ・入学選抜方法を見直した。</p> <p>学生満足度を向上する取組み(【R6 学長方針事項】含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学修ポートフォリオにより、学生 1 人ひとりの学修の方向性や進路を把握することで、学生の現状確認を支援できた。 <p>【R5 認証評価機関指摘事項】 教員活動データベース点検評価結果を活用すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価結果を各教員に通知するとともに、学科長から面談等で、指導支援することとした。 <p>【R6 学長改善指示】 領域制、領域共通科目等導入の成果を点検すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・領域制を設けたことで、学生は目指すべき栄養士像を明確にした。 <p>【R6 学長改善指示】 岐阜学入門の成果を点検すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「岐阜と食文化」(計 3 回)をテーマに掲げ、食の面から岐阜地域の特徴を学ぶ機会を学生に与えた。 <p>【R6 自己評価委員会助言】 カリキュラムの魅力づくりと情報発信に努めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Instagram を活用し、授業風景の情報発信に努めた。 <p>【R6 学長方針事項】 教育研究活動に地域課題を組み込むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度開催される「ねんりんピック岐阜 2025」のおもてなしメニューとして「ぎふ枝豆ボール」を考案した。8 月にあったリハーサル大会で競技者に振る舞ったところ大好評であった。 <p>【R6 学長方針事項】 経営、起業を意識した授業計画に取り組むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部からジビエの創作料理の依頼を受けた際、学生はプロの調理人と接する機会を得て、プロ意識を学んだ。 <p>その他の教学の内部質保証の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学科会議で授業アンケート結果を各教員と共有し、学科長が必要に応じて該当教員に指示をした。
--	---

(令和 6 年度重点目標の達成状況)

重点目標	1. 新学科の定員 50 名を確保する。
達成状況	1. 47 名で目標を達成できず。充足率 94.0%(R6 は 104%) 【入学生の状況】
改善事項及び成果	<p>1-1. 学科 Web サイト、YouTube、Instagram の活用。【広報活動の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習状況など栄養士をイメージできる動画・写真を配信した。 <p>→ ・Instagram の更新回数は昨年度と比べて倍増したが、閲覧回数が把握できないので、成果のほどはわからない。</p> <p>1-2. オープンキャンパス・高校訪問の実施、進学ガイダンスへの参加。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他学科とも調整し、実績校や専門高校を訪問した。 <p>→ ・情報収集様式を統一し、情報を学科内で共有できた。</p>

	1-3. 学科ニュースレターの発行。 ・オープンキャンパスに合わせて4回発行した。 →・学科の最新の活動状況がわかると好評であった。
根拠資料	【統計資料】
次年度の課題と改善策	・定員充足を維持する。 →・入学選抜方法の変更情報が遅かったと考えるため、早期に多様な媒体を利用して周知していく。 ・学科及び教員の教育・研究・地域連携活動力の情報量が足りなかったと考えるため、活動の魅力化・特色化を進める。

(令和7年度重点目標と方策)

重点目標	1. 入学定員 50 名を確保する。 2. 海外(在留外国人)オンライン交流を企画する【R7 学長方針事項】
方策	1-1. 学科 Web サイト、YouTube、Instagram の活用 1-2. オープンキャンパス・高校訪問の実施、進学ガイダンスへの参加 1-3. 学科ニュースレターの発行 2. 情報収集に着手し、企画を考える。

※適宜枠を広げて記入してください。ただし、2枚を越えないように作成してください。

※資料は、表題を記して別途添付してください。

統計資料(健康栄養学科)

1. カリキュラム・ポリシー指標

(専門教育科目の受講者数) 単位：人 () は、他学科履修生の内数
(食物栄養学科開講分)

分野	授業科目	単位数	年次	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
社会生活と健康	公衆衛生学	2	2	58	52	37	58	
	社会福祉概論	2	2	57	52	37	56	
人体と構造と機能	解剖学	1	1	54	38	58		
	生理学Ⅰ	1	1	54	38	58		
	生理学Ⅱ	2	2	57	52	37	55	
	解剖生理学実験	1	2	57	52	38	57	
	生化学Ⅰ	2	1	54	38	58		
	生化学Ⅱ	2	2	57	52	38	58	
	生化学実験	1	1	54	38	58		
	老年学	2	2	21	28	4	16	
	病態病理学	2	2	27	15	11	26	
食品と衛生	食品学	2	1	54	41	60		
	食品学実験	1	1	54	41	60		
	食品加工学	2	2	58	52	37	59	
	食品加工学実習	1	2	57	52	37	54	
	食品衛生学	2	2	58	52	37	58	
	食品衛生学実験	1	2	57	52	37	54	
	食品微生物学	2	1	54	38	54		
	食品品質管理論	2	2	55	49	23	32	
	食品流通論	1	2	31	18	20	35	
栄養と健康	基礎栄養学	2	1	54	41	60		
	栄養学実験	1	1	54	41	60		
	応用栄養学	2	1	54	42(1)	60		
	応用栄養学実習	1	1	54	38	30		
	栄養管理論	1	2	58	52	38	57	
	臨床栄養学Ⅰ	2	1	54	38	58		
	臨床栄養学Ⅱ	1	2	58	52	38	57	
	臨床栄養学実習Ⅰ	1	2	57	52	38	56	
	臨床栄養学実習Ⅱ	1	2	57	52	37	54	
栄養と指導	栄養指導論	2	1	54	41	60		
	栄養指導論実習Ⅰ	1	1	54	38	58		
	栄養指導論実習Ⅱ	1	2	57	52	37	54	
	栄養教育論	2	2	58	52	38	57	
	公衆栄養学概論	2	2	58	52	38	59(1)	
	栄養情報処理実習	1	1	54	38	58		
	栄養士特論	2	1	52	38	55		
	カウンセリング論	2	2	56	42	34	52	
給食の運営	調理学	2	1	55	41	60		
	調理学実習	1	1	54	41	60		
	給食管理	2	1	54	41	60		
	給食管理実習Ⅰ	1	1	54	38	58		
	給食管理実習Ⅱ	1	2	57	52	38	56	
基礎化学	基礎実験化学	2	1	52	41	59		
卒業研究	卒業研究	2	2	57	52	38	57	

(健康栄養学科開講分)

区分	科目	単位数	年次	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)
社会生活と健康	公衆衛生学	2	2		42			
	社会福祉概論	2	2		41			
	メンタルヘルス	1	1	21	17			
	情報・統計処理	1	1	43	50			
人体の構造と機能	女性の健康科学	2	1	43(1)	52			
	解剖生理学	2	1	43	50			
	生化学	2	1	45	50			
	生化学実験	1	2		42			
	身体運動科学	2	2		10			
	身体の科学	2	2		33			
	病理学	1	2		10			
	運動科学実験	1	2		20			
食品と衛生	食品学	2	1	43	52			
	食品学実験	1	1	43	52			
	食品加工学	1	1	21	32			
	食品加工学実習	1	2		21			
	食品衛生学	1	1	54(1)	58(8)			
	食品衛生学実験	1	2		41			
	食品品質管理論				0			
	食品流通論				0			
	食品機能学	2	1	51(9)	51(1)			
栄養と健康	基礎栄養学	1	1	49(6)	55(3)			
	栄養学実験	1	1	43	52			
	ライフステージ栄養学Ⅰ	1	1	82(39)	62(10)			
	ライフステージ栄養学Ⅱ	2	2		6			
	ライフステージ栄養学実習	2	1	42	50			
	栄養管理論	1	2		42			
	栄養管理実習	2	2		41			
	臨床栄養学	1	1	43	50			
	臨床栄養学実習	1	2		42			
栄養の指導	栄養指導論	2	1	43	50			
	栄養指導論実習	1	2		42			
	地域食文化論	2	1	43	50			
	公衆栄養学概論	2	2		42			
	栄養士実習	1	2		42			
給食の運営	調理学	2	1	43	52			
	調理学実習	1	1	42	52			
	給食管理	2	1	43	52			
	給食管理実習Ⅰ	1	1	42	49			
	給食管理実習Ⅱ	1	2		42			
	給食管理実習Ⅲ	1	2		41			
通年	専門基礎演習	2	1	42	51			
	地域実践演習 (卒業研究)	2	2		28			

(授業の成果 GPA の状況 健康栄養学科) 留年生、留学生を除く

学科	区分	入学年度	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
(食物栄養)	GPA 平均点	1年次	2.26	2.69	2.83	2.47			
		2年次	2.53	2.72	2.70	2.79			
		総合	2.38	2.70	2.78	2.61			
		基準最高点	3.0	4.0	4.0	4.0			
健康栄養	GPA 平均点	1年次					2.62		
		2年次					2.83		
		総合					2.68		
		基準最高点					4.0		

※留年生(休学者)、留学生を除く

(学外授業等の状況 健康栄養学科) 単位：件

学科	区分	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
(食物栄養)	学外授業(見学)	0	3	3	4		
	海外研修	0	0	0	0		
	地域連携授業	2	2	1	3		
健康栄養	学外授業(見学)				0	1	
	海外研修				0	0	
	地域連携授業				1	1	

※学生が参加する授業

2. ディプロマ・ポリシー指標

(卒業生の状況 健康栄養学科) 単位：人

学科	区分	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
(食物栄養)	卒業予定者	58	52	37	58		
	就職希望者(就職率)	54(92.6%)	42(100%)	36(97.2%)	44(97.7%)		
	進学希望者(進学率)	3(100%)	9(88.9%)	1(100%)	11(90.9%)		
	未進路者	1	1	1	5		
	休学者	1	0	4	1	(1)	
	復学者	0	0	2	2		
	留年生	2	0	3	1	(1)	
	退学・除籍者	1	0	2	1	(1)	
健康栄養	卒業予定者					41	
	就職希望者(就職率)					29(100%)	
	進学希望者(進学率)					11(100%)	
	未進路者					1	
	休学者				0	3	
	復学者				0	0	
	留年生				0	0	
	退学・除籍者				2	0	

(栄養士免許の取得状況 健康栄養学科) 単位：人

学科	区分	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
(食物栄養)	卒業生	58	52	37	58		
	栄養士免許取得	57	52	36	51		
	栄養士業務従事者	28	31	21	21		
	管理栄養士免許取得	12	20	10	10		
健康栄養	卒業生					41	
	栄養士免許取得					40	
	栄養士業務従事者					14	
	管理栄養士免許取得					8	

(専門教育科目の勉学意欲 卒業時アンケート結果 健康栄養学科)

学科	項目	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
(食物栄養)	増した	50.9%	54.0%	62.2%	66.7%		
	少し増した	43.9%	34.0%	32.4%	22.8%		
	あまり変わらない	5.3%	12.0%	5.4%	10.5%		
健康栄養	増した					65.9%	
	少し増した					31.7%	
	あまり変わらない					2.4%	

※Q：専門教育科目のカリキュラムについて、全体として勉学への意欲・興味・関心などが促されましたか。

3. アドミッション・ポリシー指標

(入学者の状況 健康栄養学科) 単位：人

学科	区分	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)
(食物栄養)	定員(充足率)	60 (90.0)	60 (66.7)	60 (96.7)				
	入学者(志願者)	54 (104)	40 (74)	58 (92)				
	総合型選抜		15 (17)	28 (29)				
	学校推薦型	24 (26)	13 (13)	11 (11)				
	社会人等選抜	0 (0)	1 (1)	2 (2)				
	一般選抜	30 (78)	11 (43)	17 (50)				
健康栄養	定員(充足率)				50 (88.0)	50 (104)	50 (94.0)	
	入学者(志願者)				44 (80)	52 (73)	47 (77)	
	総合型選抜				13 (13)	22 (24)	24 (29)	
	学校推薦型				12 (12)	15 (15)	11 (12)	
	社会人等選抜				1 (2)	2 (2)	2 (3)	
	一般選抜				18 (53)	15 (34)	10 (33)	

(広報活動の状況 健康栄養学科) 単位：件 オープンキャンパスは学園祭除く

	区分	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
(食物栄養)	オープンキャンパス	64人/2回	107人/3回				
	進学ガイダンス	2会場	11会場				
	高校訪問	1校	20校				
	SNS投稿(YouTube)	0件	4件				
	SNS投稿(Instagram)	0件	1件				
健康栄養	オープンキャンパス			70人/3回	101人/3回	113人/4回	
	進学ガイダンス			6会場	5会場	3会場	
	高校訪問			25校	28校	20校	
	SNS投稿(YouTube)			3件	5件	5件	
	SNS投稿(Instagram)			33件	56件	54件	

(本学を希望した理由 新入生アンケート結果 健康栄養学科) 複数回答可

学科	項目	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)
(食物栄養)	短期に一般教養や専門知識・技術を身につける	18.4%	22.3%	16.5%				
	資格をとる	23.3%	22.3%	25.2%				
	自分が学びたいことが学べる環境・カリキュラムである	14.1%	20.1%	22.1%				
	4大の3年次編入や専門学校などへの選択ができる	12.9%	7.9%	9.5%				
	卒業後の就職に有利	4.9%	6.5%	0.8%				
	公立	24.5%	20.9%	25.2%				
健康栄養	短期に一般教養や専門知識・技術を身につける				23.3%	21.3%	27.6%	
	資格をとる				26.2%	23.0%	23.6%	
	自分が学びたいことが学べる環境・カリキュラムである				13.6%	18.0%	17.0%	
	4大の3年次編入や専門学校などへの選択ができる				11.7%	12.3%	8.5%	
	卒業後の就職に有利				3.9%	2.5%	4.7%	
	公立				21.4%	22.9%	18.9%	

4. 地域貢献活動

(教員の地域貢献活動の状況 健康栄養学科) 単位：件

学科	区分	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
(食物栄養)	公開講座	0	3	3			
	出前・出張講座	1	0	2			
	地域連携活動	1	2	2			
	行政等審議会員派遣	8	7	12			
健康栄養	公開講座				4	3	
	出前・出張講座				3	1	
	地域連携活動				4	11	
	行政等審議会員派遣				16	10	

5. 研究活動

(外部資金獲得の状況 健康栄養学科) 単位：件

学科	区分	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
(食物栄養)	科研費採択	0	0	0			
	奨学寄附金採択	0	1	0			
健康栄養	科研費採択				4	0	
	奨学寄附金採択				2	1	

自己評価等報告書

(評価対象)

実施機関名	デザイン環境学科	代表者氏名	学科長
評価年度	令和7年度入試選抜	作成者氏名	学科長

(アドミッションポリシーと入試方法ごとの選抜方法の現状)

<p>・生活に関わる必要かつ重要なデザインの発想および提案を基盤とした教育を行います。持続可能な社会の実現において、様々な問題を解決するために、デザインの中でも、ファッション、建築・インテリア、ヴィジュアル・情報の分野に関する知識・能力を身につけて社会に貢献したいという強い意志を持った者の入学を求めています。地域との連携による実践的な取り組みに積極的に参画する意欲を持った学生を歓迎します。</p>																	
総合型選抜	<p>・ファッション/建築・インテリア/ヴィジュアル・情報の3領域に関する知識・能力を生かして持続可能社会の構築に貢献する人材を育成する学科です。プレゼンテーションを通じて、本学科の教育内容・理念を受験生に理解してもらうとともに、本学科の教育内容に対する受験生の適正を評価します。本学科の授業は、講義・実験・実習・演習はもちろん、机上の学問に終始するのではなく、地域社会の中で実践を通して知識と技術を身につけます。そのような実践的な活動に対して興味と関心を持ち、率先して参加するような、向上心あふれる意欲的な学生を募集します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>知識・技能</th> <th>思考力・判断力・表現力</th> <th>主体性・協働性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小論文</td> <td>◎</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>書類審査</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">◎最重点評価項目 ○重点評価項目</p>	区分	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性	小論文	◎	○		プレゼンテーション	◎	◎	◎	書類審査			○
区分	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性														
小論文	◎	○															
プレゼンテーション	◎	◎	◎														
書類審査			○														
I	<p>小論文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設問に対し、社会情勢や自分の考えを論述する能力などを問います。 <p>プレゼン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独自で定めたテーマに対し、調査・考察及び、必要に応じて制作をし、それらを発表する能力などを問います。ただし、質疑応答を含み、学習意欲や動機も問います。 <p>書類審査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査書、入学志望書により評価します。 																
II	<p>小論文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設問に対し、社会情勢や自分の考えを論述する能力などを問います。 <p>プレゼン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独自で定めたテーマに対し、調査・考察及び、必要に応じて制作をし、それらを発表する能力などを問います。ただし、質疑応答を含み、学習意欲や動機も問います。 <p>書類審査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査書、入学志望書により評価します。 																
学校推薦型選抜	<p>・勉学に対する意欲が旺盛で、本学の学科の専門分野に興味を持ち、関連する学力や能力に秀でた学生、課外活動やコンテストなどに積極的に取り組み活動してきた学生、各種検定試験・資格取得などに積極的に取り組んだ学生を募集します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>知識・技能</th> <th>思考力・判断力・表現力</th> <th>主体性・協働性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小論文</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>書類審査</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">◎最重点評価項目 ○重点評価項目</p>	区分	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性	小論文	◎	◎	○	面接	○	○	◎	書類審査	○	○	◎
区分	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性														
小論文	◎	◎	○														
面接	○	○	◎														
書類審査	○	○	◎														
一般公募	<p>小論文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語の基礎学力を問う問題を含み、自分の考えを論述する能力を問います。 <p>面接</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極性や主体性、協働性を確認するため、課外活動、授業に取り組む姿勢、学びの習慣及び入学後の抱負などを問います。 <p>書類審査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査書、推薦書、入学志望書により評価します。 																
指定校推薦	<p>口頭試問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志望する学科のアドミッションポリシーに沿った知識・技能、思考力や自分の考えを表現する力を確認します。 <p>面接</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出願書類を参考に志望理由、学科への適正などを確認します。 																

	書類審査	・調査書、指定校推薦書、入学志望書により評価します。																				
専門高校		・デザインという学科の特性上、「ものづくり」に関する実習・演習が多くあります。そのようなデザイン環境に関わる領域(被服・住居などに家政系・工業系領域及び美術・デザイン領域)に対して、(学力だけで測れない)専門学校で学んだ知識・技術の評価し、専門に関して特に顕著な業績を残した学生を募集します。																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>知識・技能</th> <th>思考力・判断力・表現力</th> <th>主体性・協働性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小論文</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td></td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td></td> </tr> <tr> <td>書類審査</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>資格証書</td> <td>◎</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性	小論文	◎	◎		面接	○	◎		書類審査	○	○	◎	資格証書	◎	○	
区分	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性																			
小論文	◎	◎																				
面接	○	◎																				
書類審査	○	○	◎																			
資格証書	◎	○																				
		◎最重点評価項目 ○重点評価項目																				
	小論文	・国語の基礎学力を問う問題を含み、自分の考えを論述する能力を問います。																				
	面接	・積極性や主体性、協働性を確認するため、課外活動、授業に取り組む姿勢、学びの習慣及び入学後の抱負などを問います。																				
	書類審査	・調査書、推薦書、入学志望書、資格証書により評価します。																				
一般選抜		・学科での教育に必要な総合的な基礎学力を持つ学生を募集します。																				
I	学力検査	・学科で学ぶために必要な学力「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を判定するために、筆記試験により高等学校卒業程度の学力検査を行います。 (必須:「英語」 選択:「国語」「数学Ⅰ、数学A」「実技」から1科目)																				
	調査書	・評価点数に加えないが、高校での資格取得や学習成績の状況を確認します。																				
II	学力検査	・大学入学共通テストの成績のみで、本学で学ぶために必要な基礎学力を「知識・技能」を中心に判定を行います。 (必須:「英語」 選択:「国語」「数学」「理科」「地理歴史・公民」「情報」から2教科2科目)																				
	調査書	・評価点数に加えないが、高校での資格取得や学習成績の状況を確認します。																				
III	学力検査	・大学入学共通テストの成績のみで、本学で学ぶために必要な基礎学力を「知識・技能」を中心に判定を行います。 (選択:「国語」「外国語」「数学」「理科」「地理歴史・公民」「情報」から2教科2科目)																				
	調査書	・評価点数に加えないが、高校での資格取得や学習成績の状況を確認します。																				
社会人選抜		・すでに社会人としての経験を積み、あらためて短期大学で学び、教養を深めたい方、最新の専門的知識を得たい方を募集します、なお、他の学生に刺激を与え、相互に学習意欲を高め合うことも期待します。																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>知識・技能</th> <th>思考力・判断力・表現力</th> <th>主体性・協働性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小論文</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td></td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>書類審査</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	区分	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性	小論文	◎	◎		面接	○	◎	◎	書類審査	○		○				
区分	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性																			
小論文	◎	◎																				
面接	○	◎	◎																			
書類審査	○		○																			
		◎最重点評価項目 ○重点評価項目																				
	小論文	・国語の基礎学力を問う問題を含み、自分の考えを論述する能力を問います。																				
	面接	・積極性や主体性、協働性を確認するため、課外活動、授業に取り組む姿勢、学びの習慣及び入学後の抱負などを評価します。																				
	書類審査	・調査書、入学志望書により評価します。																				
帰国生徒選抜		・勉学意欲が旺盛で、本学の学科の専門分野に興味を持ち、関連する能力に秀でた学生、異文化体験で身につけた様々な能力を持つ学生を募集します。																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>知識・技能</th> <th>思考力・判断力・表現力</th> <th>主体性・協働性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小論文</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td></td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>書類審査</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	区分	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性	小論文	◎	◎		面接	○	◎	◎	書類審査	○		○				
区分	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性																			
小論文	◎	◎																				
面接	○	◎	◎																			
書類審査	○		○																			
		◎最重点評価項目 ○重点評価項目																				

	小論文	・国語の基礎学力を問う問題を含み、自分の考えを論述する能力を問います。		
	面接	・積極性や主体性、協働性を確認するため、課外活動、授業に取り組む姿勢、学びの習慣及び入学後の抱負などを評価します。		
	書類審査	・調査書、入学志望書により評価します。		
留学生選抜	<ul style="list-style-type: none"> ・本学での授業を理解できる日本語能力があり、勉学意欲が旺盛な学生を募集します。日本人学生と積極的に交流して、日本人学生に外国語学習や異文化理解への動機付けをしてくれることも期待します。 			
	区分	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性
	小論文	◎	◎	
	面接	○	◎	◎
	書類審査	○		○
◎最重点評価項目 ○重点評価項目				
	小論文	・国語の基礎学力を問う問題を含み、自分の考えを論述する能力を問います。		
	面接	・積極性や主体性、協働性を確認するため、課外活動、授業に取り組む姿勢、学びの習慣及び入学後の抱負などを評価します。		
	書類審査	・調査書、入学志望書により評価します。		

(出題とアドミッションポリシーの対応自己点検)

(総括)		
<ul style="list-style-type: none"> ・選抜方法(出題)は、概ねアドミッションポリシーに求める能力を評価しており整合している。 ・従来の小論文、課題、プレゼンの試験科目を「口頭試問」に集約し、受験生にわかりやすい評価方法・視点を明示している。 ・評価の視点など受験生にわかりやすい記載を検討(改善)していく。 ・出題内容のバリエーションを検討していく。 		
総合型選抜	(総括)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・小論文とプレゼンテーションは、アドミッションポリシーに求める能力を評価している。 ・出題内容が例年似ているのが良いのかを検討する。 	
I	小論文	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインが環境に与える影響に関する具体例を挙げ論ずることにより、デザインに関する知識や表現力を評価している。 ・解答文章量及び解答時間を検討していく。
	プレゼン	<ul style="list-style-type: none"> ・「私とデザインとの関わりについて」のテーマに沿って設定した個別テーマのプレゼンテーションから、技能・思考力・デザインを学ぶことについての意欲を評価している。 ・プレゼンテーションの実施時間/方法を検討していく。
	書類審査	・調査書、入学志望書から、デザインについての学びの意欲や協働性を評価している。
II	小論文	・(受験者がいなかったため特記なし)
	プレゼン	・(受験者がいなかったため特記なし)
	書類審査	・(受験者がいなかったため特記なし)
学校推薦型選抜	(総括)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・小論文と面接は、アドミッションポリシーに求める能力を評価している。 ・推薦書に、学力の3要素の視点ごとに記載するよう求めることで、評点の公平性、整合性を担保している。 ・出題文章を検討していく。 	
一般公募	小論文	<ul style="list-style-type: none"> ・品物の美の価値に関する著書を題材に、読解力や自分の考えを記述させることで思考力・表現力を評価している。 ・出題文を検討していく。
	面接	・課外活動、授業に取り組む姿勢、学びの習慣及び入学後の抱負などから、技能・表現力・主体性を評価している。
	書類審査	・調査書、推薦書、入学志望書から、主体的な学びや協働性を評価している。

指定校推薦	口頭試問	<ul style="list-style-type: none"> デザインの発想に関する知識や思考力を評価している。 基礎学力の評価を検討していく。
	面接	<ul style="list-style-type: none"> 学科での学びへの意欲、協働性を評価している。
	書類審査	<ul style="list-style-type: none"> 調査書の評定値、指定校推薦書、入学志望書から主体性・協働性を評価している。
専門高校枠	(総括)	<ul style="list-style-type: none"> 受験者がいなかったことから特記なし。
	小論文	<ul style="list-style-type: none"> 特記なし
	面接	<ul style="list-style-type: none"> 特記なし
	書類審査	<ul style="list-style-type: none"> 特記なし
一般選抜	(総括)	<ul style="list-style-type: none"> 学力検査は、アドミッションポリシーに求める能力を評価している。 従来の中頭試問を廃止することで、受験生にわかりやすい評価方法・視点を明示している。
I	学力検査	<ul style="list-style-type: none"> 国語総合の現代文では、比較宗教学に関する著書を題材に、文章の内容を把握する力を、古文では、「大鏡」を題材に、内容把握と文法の理解力を評価している。 英語では、被爆体験者のレポートを題材に、読解力や、語彙・文法力を評価している。 数学Ⅰ・数学Aでは、共通と選択の問題を設定し、因数分解・統計・確率・幾何等の解及び思考過程を記述させることで知識・思考力を評価している。 実技では、与えられたモチーフの描写力と表現力を評価している。
	調査書	<ul style="list-style-type: none"> 評価点数には加えないが、高校での資格取得や学修状況を参考としている。
II	学力検査	<ul style="list-style-type: none"> 共通テストから3科目を課すことで、志願者の学力を評価している。
	調査書	<ul style="list-style-type: none"> 評価点数には加えないが、高校での資格取得や学修状況を参考としている。
III	学力検査	<ul style="list-style-type: none"> 共通テストから2科目を課すことで、志願者の学力を評価している。
	調査書	<ul style="list-style-type: none"> 評価点数には加えないが、高校での資格取得や学修状況を参考としている。
社会人選抜	(総括)	<ul style="list-style-type: none"> 受験者がいなかったことから特記なし。
	小論文	<ul style="list-style-type: none"> 特記なし
	面接	<ul style="list-style-type: none"> 特記なし
	書類審査	<ul style="list-style-type: none"> 特記なし
帰国生徒選抜	(総括)	<ul style="list-style-type: none"> 受験者がいなかったことから特記なし。
	小論文	<ul style="list-style-type: none"> 特記なし
	面接	<ul style="list-style-type: none"> 特記なし
	書類審査	<ul style="list-style-type: none"> 特記なし
留学生選抜	(総括)	<ul style="list-style-type: none"> 受験者がいなかったことから特記なし。
	小論文	<ul style="list-style-type: none"> 特記なし
	面接	<ul style="list-style-type: none"> 特記なし
	書類審査	<ul style="list-style-type: none"> 特記なし

自己評価等報告書

(評価対象)

実施機関名	デザイン環境学科	代表者氏名	学科長
評価年度	令和6年度	作成者氏名	学科長

(実施機関の使命と現状)

カリキュラム・ポリシー及び ディプロマ・ポリシー 又は設置趣旨	<p>カリキュラム・ポリシー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学のカリキュラム・ポリシーに基づき、全学科共通の教養教育科目と専門領域に対応した専門教育科目によりカリキュラムを編成・実施します。 <p>(編成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3つの専門領域(「ファッション」、「建築・インテリア」、「ヴィジュアル・情報」)を編成します。 ・実践的な地域活動を通し、創造力や思考力を身につけるため、デザイン全般において必要不可欠な能力を養い、各領域の内容を見渡すことができる知識を習得する「領域共通科目」を編成します。 ・各領域では、専門分野毎に体系的に能力・技術を身につけるため、「領域科目」を編成します。 <p>(実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年次前期は、領域を問わず演習・実習と講義を通じて、必要不可欠な基礎的な知識・技能を習得します。個々の適性を伸ばすトレーニングを膨らませ、本人が目標とする進路へ対応可能なスキルを磨きます。 ・1年次後期は、3つの専門領域に分かれ多角的な視点から考察し、知識・技能を習得します。少人数のゼミナールで、課題研究に取り組みます。 ・2年次は、専門領域の研究を通じて洞察力と創造力を養います。それぞれの所属するゼミナールにおいて、「地域実践演習(卒業制作、卒業論文)」に取り組みます。自分自身で物事を捉え考えられるように、教員及び学生相互のコミュニケーションを重ねながら研究・制作を深めます。 ・社会に貢献し、地域産業との交流を通じて自身のキャリアデザインを描くため、地元企業等と連携した授業を実施します。 <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバスに明示した評価方法(定期試験・レポート・プレゼンテーションなど)と共に、各科目で設定する到達目標への到達度で評価します。 <p>ディプロマ・ポリシー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会の実現のため「自然環境との共生」「素材から取り組む本物志向」「人々を動かす力の向上」を軸に、デザインの思想や意義と地域産業への理解を深め、共感と協調に基づいて社会生活における諸課題を解決する能力を身につけた人材の育成を目指します。そのために必要な専門分野をファッション、建築・インテリア、ヴィジュアル・情報の3領域とし、領域を横断しながら学ぶことを教育目標とします。この目標を満たし、各領域の定める具体的資質を身につけた人材に対し「短期大学士(デザイン環境学)」の学位を授与します。 ファッション領域：高品質な素材縫製技術による「本物志向」の教育を通して持続可能なファッション文化の実現を目標に、地域の繊維産業と連携しながら素材・製造・販売までの実践的な能力を身につける。 建築・インテリア領域：自然環境との共生を再認識し、産官学連携による実践的な地域活動に積極的に取り組む中で、持続性のある建築・地域づくりに貢献する。 ヴィジュアル・情報領域：ビジュアルコミュニケーションを効果的に学修するため、従来の視覚情報について学ぶとともに、現代社会に適した情報科学を学び、創造的な取り組みを実践する。 <p>アドミッション・ポリシー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活に関わる必要かつ重要なデザインの発想および提案を基盤とした教育を行います。持続可能な社会の実現において、様々な問題を解決するために、デザインの中でも、ファッション、建築・インテリア、ヴィジュアル・情報の分野に関する知識・能力を身につけて社会に貢献したいという強い意志を持った者の入学を求めています。地域との連携による実践的な取り組みに積極的に参画する意欲をもった学生を歓迎します。
---------------------------------------	--

<p>現状説明</p>	<p>カリキュラム・ポリシーの適合性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポリシーに「実施」「編成」「評価」の各考え方を明文化した。 ・シラバスを策定し、授業を実施した。【受講者数】 ・GPA 平均は、2.51(R5 卒業生は 2.90)【GPA の状況】 <p>→・シラバスの記載内容を学科会議で点検し、ポリシーとの整合性を確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学ぶ能力を高めるため、コンソーシアム岐阜の地域課題解決提案事業に参画した。 ・学生の領域選択を支援するため、ガイダンスを実施した。 <p>ディプロマ・ポリシーの適合性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・48 人に短期大学士を授与した。【卒業生の状況】 ・能力を自己点検するため検定等を奨励した。【検定等の取得状況】 ・主体的な学びの関心度は、89.6%(R5 は 92.9%)【卒業時アンケート】 <p>→・卒業生アンケート結果を学科会議で共有・検討するとともに、学科長が所属教員に必要な指示をした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休学者や退学者を減らすため、学生の学修生活状況に応じて、面談や補講を実施した。 <p>アドミッション・ポリシーの適合性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R7 入学生は、41 人(志願者 65 人)【入学生の状況】 ・本学科を希望した理由の第 1 位は、「学びたい環境・カリキュラムがある及び短期に一般教養、専門知識・技術を身に付ける(同率 1 位)」(R6 は「学びたい環境・カリキュラムがあるから」)【新入生アンケート】 <p>→・入学選抜方法を見直した。</p> <p>学生満足度を向上する取組み(【R6 学長方針事項】含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学修ポートフォリオにより、学生 1 人ひとりの学修の方向性や進路を把握することで、学生の現状確認を支援できた。 <p>【R5 認証評価機関指摘事項】 教員活動データベース点検評価結果を活用すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価結果を各教員に通知するとともに、学科長から面談等で、指導支援することとした。 <p>【R6 学長改善指示】 領域制、領域共通科目等導入の成果を点検すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・領域 2 年目の成果は、1 年制後期から領域選択を行うことで、専修制時の進路とのミスマッチは減少したと考える。 <p>【R6 学長改善指示】 岐阜学入門の成果を点検すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜学入門の学修項目が、 <p>【R6 自己評価委員会助言】 カリキュラムの魅力づくりと情報発信に努めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インスタグラムを活用した定期的な発信を行った。 <p>【R6 学長方針事項】 教育研究活動に地域課題を組み込むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や地域連携をテーマに取り込み授業、研究を行った。 <p>【R6 学長方針事項】 経営、起業を意識した授業計画に取り組むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜学関連で地域産業論、地域産業計画演習Ⅱの科目を新設したが受講者が少ない状況も、引き続き取り組む。 <p>その他の教学の内部質保証の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学科会議で各教員の担当科目を授業アンケートなどのデータを活用し PDCA サイクルにて改善の取組みを行った。 ・学科個別のアンケートを入学時と卒業時に行い、改善が必要な科目や学科の取組みを洗い出し、検討した。
-------------	--

(令和 6 年度重点目標の達成状況)

<p>重点目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定員を充足する。 2. 休退学者をなるべく減らす。 3. 進路支援の充実 4. 地域貢献の質の向上
<p>達成状況</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定員 60 名⇒41 名入学。 2. 休学 7 人(R5 は 3 人)、留年 1 人(R5 は 4 人)、退学 4 人(R5 は 1 人) 3. 就職内定率 92.5X%(R5 は 98.2%)、進学率 100.0%(R5 は 88.9%) 4. CeNCER 関連事業の他、学科独自の連携事業を実施した。
<p>改善事項及び成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 進学ガイダンスの積極的・戦略的な参加、高校訪問や高校連絡に全員体制で取り組み、特に岐阜市内の高校との連携を強化・オープンキャンパスや広報を充実

	<p>→・情報収集様式を統一し、情報を学科内で共有できた。</p> <p>2. ポートフォリオも活用し手厚い対応、1人ひとり時間をかけて丁寧に話を聞いた。</p> <p>→・各個人の目指す就職や進学を聞き、適切なアドバイスをした。</p> <p>3. 担任やゼミ担当教員、ポートフォリオのアドバイザーなど複数の教員が普段から相談に乗り就職先や進学先を斡旋した。</p> <p>→・過年度生が数人まだ決まっていないが、その他の学生は100%決まった。</p> <p>4. 既存の連携+新規案件</p> <p>→・全員が何らかの形で連携を行った。</p>
根拠資料	【統計資料】
次年度の課題と改善策	<p>・定員を充足する。</p> <p>→・本学Web情報利用者の減、志願者増の開拓のため、学生目線の魅力ある情報発信と岐阜地域以外(東濃、尾張、北陸等)での広報活動を推進する。</p> <p>・カリキュラム内容を重視する志願者が増えてきているため、教育・研究・地域連携活動の情報をさらに広報し、活動の魅力化・特色化を進める。</p>

(令和7年度重点目標と方策)

重点目標	<p>1. 定員を充足する。</p> <p>2. 休退学者をなるべく減らす。</p> <p>3. 進路支援の充実</p> <p>4. 地域貢献の質の向上</p> <p>5. 海外(在留外国人)オンライン交流を企画する【R7学長方針事項】</p>
方策	<p>1. 進学ガイダンス、高校訪問、高校連絡をおこない、授業の中身を魅力的にする。</p> <p>2. 学生に寄り添って相談する。</p> <p>3. 進路指導は随時行う。</p> <p>4. 学生にも負担がかかり過ぎないように、学生のためになる地域貢献を取捨選択する。</p> <p>5. ○○</p>

※適宜枠を広げて記入してください。ただし、2枚を超えないように作成してください。

※資料は、表題を記して別途添付してください。

統計資料(デザイン環境学科)

1. カリキュラム・ポリシー指標

(専門教育科目の受講者数) 単位：人 () は、他学科履修生の内数
(生活デザイン学科開講分)

分野	授業科目	単位数	年次	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
基礎科目	デザイン概論	2	1	61	47(2)	69		
	色彩学	2	1	63	47	69		
	基礎造形	2	1	61	45	68		
	デッサン	2	1	52	38	50		
	生活材料学	2	1	33	22	19		
	ファッションデザイン論	2	1	32	14	11		
	建築・インテリア概論	2	1	32	24	49		
	インテリアデザイン論	2	1	39	18	30		
	美術・デザイン史	2	1	42	31	40		
	メディアデザイン論	2	1	31	31	36		
専修科目 (ファッション)	ファッションデザイン画	2	1		8	11		
	ファッションデザイン画Ⅰ	2	1	12				
	ファッションデザイン画Ⅱ	2	2	17	11			
	ファッションデザイン演習Ⅰ	2	1	12	8	10		
	ファッションデザイン演習Ⅱ	2	2	17	12	8	9	
	ファッション造形論	2	1	12	8	10		
	ファッション造形演習Ⅰ	2	1	12	8	10		
	ファッション造形演習Ⅱ	2	1	12	8	10		
	ファッション造形演習Ⅲ	2	2	10	12	8	7	
	ファッション造形演習(和服)	2	2		0	2	4	
	パターンメイキング論	2	2	17	12	8	10	
	ドレーピング	2	1		8	10		
	ドレーピングⅠ(基礎)	2	1	13(1)				
	ドレーピングⅡ(応用)	2	2	10	8			
	材料管理学	2	2	17	12	8	10	
	テキスタイル素材演習	2	2	17	12	8	10	
	染色デザイン演習	2	2		0	8	6	
	テキスタイル染色演習	2	2	17	12	8	10	
	ファッションビジネス論	2	1	12	8	12		
	ファッションマーケティング	2	1	12	8	10		
	アパレルマーチャンダイジング	2	2	17	12			
	ブランドマーチャンダイジング	2	2		0	8	10	
	ファッション販売論	2	2	7	4	4	1	
服飾文化史	2	1	11	5	9			
ファッション史概論	2	1		8	10			
消費科学	2	2	17	12	8	10		
課題研究	2	1	12	8	10			
専修科目 (建築・インテリア)	建築・インテリア基礎製図	2	1	24	18	28		
	建築・インテリア設計演習Ⅰ	2	1	24	17	28		
	建築・インテリア設計演習Ⅱ	2	2	24	25	12	22	
	建築・インテリア設計演習Ⅲ	2	2	12	6	2	10	
	建築・インテリアCAD演習	2	1	25	17	28		
	空間デザイン演習	2	2	17	10			
	建築プレゼンテーション演習	2	2		0	7	22	
	建築計画論	2	1	24	18	28		
	公共施設計画論	2	1		17	27		

	住生活論	2	2	24	25	10	14	
	西洋建築史	2	2	24	25	9	20	
	日本建築史	2	2	21	13	8	13	
	建築材料学	2	1	24	18	28		
	一般構造	2	1	25	17	28		
	構造力学	2	1	25	17	28		
	構造力学演習	2	2	22	24	13	26	
	構造計画	2	2	16	19	10	23	
	建築環境学	2	1	24	17	28		
	建築設備学	2	1	24	17	28		
	施工と生産システム演習	2	2	24	25	16		
	施工と生産	2	2				27	
	建築法規	2	2	24	25	17	27	
	測量実習	2	2	24	24			
	測量演習	2	2			8	12	
	インテリアディスプレイデザイン	2	2	29	26			
	インテリアデザイン演習	2	2		0	14		
	課題研究	2	1	25	17	24		
専修科目	発想トレーニング	2	1	25	19	30		
(ヴィジュアル)	C G 演習	2	1	26(1)	21	33		
	映像機器論	2	1	25				
	映像表現論	2	2	16(1)	3(1)			
	映像表現 (実写)	2	2		0	4	5	
	映像表現 (アニメーション)	2	2		0	0	11	
	グラフィックデザインⅠ	2	1	25	19	30		
	グラフィックデザインⅡ	2	1	26	21	34		
	グラフィックデザインⅢ	2	2	25	23	15	34	
	グラフィックデザインⅣ	2	2	27	23	15	34	
	イラストレーションⅠ	2	1	25	19	30		
	イラストレーションⅡ	2	1	25	22(1)	34		
	絵本・イラストレーション	2	2	25	23	4	10(1)	
	コミュニケーションデザイン論Ⅰ	2	1	25	21	34		
	コミュニケーションデザイン論Ⅱ	2	2	25	23	15	34	
	DTP 演習	2	2	26	17(2)	12	23	
	Web デザイン	2	2	24	11(2)	11	17	
	情報デザイン論	2	1	26	23(2)	34		
	デジタルデザイン表現	2	2	27	23	15	34	
	パッケージデザイン	2	2		0	11	22	
	インテリアディスプレイデザイン	2	2	0				
	インテリアデザイン演習	2	2		0		8	
	課題研究	2	1	26	20	32		
展開科目	生活環境学	2	2	30(1)	11	18	18	
	テキスタイルデザイン	2	2	9	15	5	27	
	地域・環境デザイン論	2	2	12	17	7	19	
	生活造形演習	2	2	23	12	5	19	
	広告デザイン論	2	2	31	25(3)	7	4	
卒業研究	卒業研究	4	2	68	60	42	72	
	インターンシップ	2	1・2	0	3	1	0	

(デザイン環境学科開講分)

区分	科目	単位数	年次	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)
領域基礎	色彩学	2	1	81(22)	65(10)			
	美術・デザイン史	2	1	76(17)	28			
	ファッションデザイン概論	2	1	59	51			
	建築・インテリア概論	2	1	79(20)	54(3)			
	ヴィジュアルデザイン概論	2	1	63(4)	53(1)			
	材料学	2	1	32(8)	35(3)			
	日本建築史	2	1	20(1)	14			
岐阜学	地域産業論	2	2		2			
	地域産業計画演習	1	2		0			
領域共通基礎	デザイン環境演習Ⅰ	2	1	59	52			
	デザイン環境演習Ⅱ	2	1	59	52			
	情報・統計処理	1	1	56	51			
	発想トレーニング	2	1	59	33			
	サステイナブルデザイン	2	1	59	34			
ファッション領域	ファッションデザイン画	2	1	7	10			
	ファッション造形論	2	1	7	10			
	ファッション造形演習Ⅰ	2	1	7	10			
	ファッション造形演習Ⅱ	2	2		5			
	ファッション造形演習Ⅲ	2	2		5			
	ファッション造形演習Ⅳ	2	2		0			
	レーピング	2	1	7	4			
	繊維材料学	2	1	7	11			
	材料管理学	2	2		5			
	テキスタイル素材演習	2	2		5			
	テキスタイル染色演習	2	2		5			
	ファッションビジネス論	2	1	7	10			
	ファッションマーケティング	2	1	7	10			
	ブランドマーチャンダイジング	2	2		6			
	消費科学	2	2		6			
	ファッション史概論	2	1	7	10			
	ファッション造形実践演習	2	2		6			
	テキスタイル創造演習	2	2		1			
建築・インテリア領域	建築・インテリア基礎製図	1	1		15			
	建築・インテリア設計演習Ⅰ	2	1	25	15			
	建築・インテリア設計演習Ⅱ	2	2		24			
	建築・インテリア設計演習Ⅲ	2	2		11			
	建築・インテリアCAD演習	2	1	25	15			
	建築プレゼンテーション演習	2	1	24	14			
	建築計画論	2	1	25	15			
	公共施設計画論	2	2		14			
	西洋建築史	2	1	38	14			
	建築材料学	2	1	18	15			
	一般構造	2	2		24			
	構造力学	2	2		22			
	構造力学演習	2	2		17			
	構造計画	2	2		22			
	建築環境学	2	1	25	15			
	建築設備学	2	1	25	15			
	バイオクライマティックデザイン	2	2		10			

	施工と生産システム演習	2	2		24			
	建築法規	2	2		24			
	測量演習	2	2		10			
	インテリアデザイン論	2	1	19	15			
	インテリアデザイン演習	2	2		10			
ヴィジュアル・情報 領域	グラフィックデザインⅠ	2	1	24	27			
	グラフィックデザインⅡ	2	2		22			
	グラフィックデザインⅢ	2	2		21			
	CG演習	2	1	24	27			
	メディアデザイン論	2	1	24	26			
	映像表現（実写）	2	2		4			
	映像表現（アニメーション）	2	2		12			
	イラストレーションⅠ	2	1	24	26			
	イラストレーションⅡ	2	2		22			
	絵本・イラストレーション	2	2		9			
	情報デザイン論	2	1	24	27			
	認知情報処理	2	1	5	0			
	ビジュアルリテラシー	2	1	13	24			
	ビジュアルデータサイエンス	2	2		3			
	コミュニケーションデザイン論Ⅰ	2	1	17	20			
	コミュニケーションデザイン論Ⅱ	2	2		6			
	DTP演習	2	2		18			
	Webデザイン	2	2		12			
	パッケージデザイン	2	2		4			
	デジタルファブリケーション演習	2	2		1			
	課題研究	2	1	55	51			
	地域実践演習（卒業研究）	4	2		52			
	他領域単位互換科目	2	2					
	インターンシップ	1.2	1		1			

(授業の成果 GPA の状況 デザイン環境学科) 留年生を除く

学科	区分	入学年度	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
(生活デザイン)	GPA 平均点	1年次	2.19	2.77	2.64	2.89			
		2年次	2.34	2.67	2.78	2.93			
		総合	2.27	2.74	2.70	2.90			
		基準最高点	3.0	4.0	4.0	4.0			
デザイン環境	GPA 平均点	1年次					2.56		
		2年次					2.44		
		総合					2.51		
		基準最高点					4.0		

※留年生(休学者)、留学者を除く

(学外授業等の状況 デザイン環境学科) 単位：件

学科	区分	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
(生活デザイン)	学外授業(見学)	10	22	15	11		
	海外研修	0	2	0	0		
	地域連携授業	12	22	12	2		
デザイン環境	学外授業(見学)				7	12	
	海外研修				0	1	
	地域連携授業				3	5	

※学生が参加する授業

2. ディプロマ・ポリシー指標

(卒業生の状況 デザイン環境学科) 単位：人

学科	区分	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
(生活デザイン)	卒業予定者	68	53	40	72		
	就職希望者(就職率)	49 (98.0%)	45 (100%)	34 (100%)	57 (98.2%)		
	進学希望者(進学率)	9 (100%)	5 (100%)	4 (100%)	9 (100%)		
	未進路者	10	3	2	7		
	休学者	2	0	6	0		
	復学者	3	1	3	2		
	留年者	3	3	3	0		
	退学・除籍者	0	4	5	0		
デザイン環境	卒業予定者					48	
	就職希望者(就職率)					39 (92.9%)	
	進学希望者(進学率)					7 (100%)	
	未進路者					2	
	休学者				3	7	
	復学者				0	1	
	留年者				4	1	
	退学・除籍者				1	4	

(検定等の取得状況 デザイン環境学科) ()は受験者に対する合格率

区分	卒業年度	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
衣料管理士	2級	17人 (100%)	12人 (100%)	8人 (100%)	10人 (100%)	5人 (100%)	
ファッションビジネス 能力検定	2級	10人 (50.0%)	3人 (42.9%)	11人 (73.3%)	0人 (0%)	3人 (50%)	
	3級	3人 (100%)	3人 (75.0%)	2人 (100%)	0人 (0%)	4人 (100%)	
ファッション販売 能力検定	2級	1人 (0%)	2人 (100%)	1人 (100%)			
	3級	3人 (100%)	1人 (100%)				
建築CAD検定	2級	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	1人 (50%)	0人 (0%)	
	3級	0人 (0%)	3人 (25.0%)	0人 (0%)	2人 (66.7%)	1人 (14.3%)	
リビングスタイリスト	2級						
色彩能力検定	2級	15人 (75.0%)	4人 (100%)	6人 (100%)	22人 (62.9%)	9人 (64.3%)	
	3級	36人 (94.7%)	29人 (96.7%)	32人 (97.0%)	27人 (79.4%)	9人 (81.8%)	
	UC級			2人 (100%)	6人 (100%)	0人 (0%)	
マルチメディア検定	ベーシック	19人 (82.6%)	12人 (80.0%)	25人 (96.1%)	4人 (50%)	9人 (81.8%)	
Webデザイナー検定	ベーシック	18人 (85.7%)	15人 (83.3%)	26人 (93.1%)	1人 (25%)	2人 (50%)	
パターンメイキング 技術検定	3級	2人 (0%)		3人 (100%)		0人 (0%)	

(専門教育科目の勉学意欲 卒業時アンケート結果 デザイン環境学科)

学科	項目	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
(生活デザイン)	増した	55.6%	64.0%	71.1%	70.4%		
	少し増した	36.5%	32.0%	23.7%	22.5%		
	あまり変わらない	7.9%	4.0%	5.3%	7.0%		
デザイン環境	増した					58.3%	
	少し増した					31.3%	
	あまり変わらない					10.4%	

※Q：専門教育科目のカリキュラムについて、全体として勉学への意欲・興味・関心などが促されましたか。

3. アドミッション・ポリシー指標

(入学者の状況 デザイン環境学科) 単位：人

学科	区分	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
(生活デザイン)	定員(充足率)	60(102)	60(75)	60(113)				
	入学者(志願者)	61(123)	45(82)	68(130)				
	総合型選抜	14(31)	13(15)	21(33)				
	学校推薦型	26(34)	17(17)	24(27)				
	社会人等選抜	0(0)	0(0)	0(0)				
	一般選抜	21(58)	15(50)	23(70)				
デザイン環境	定員(充足率)				60(98.3)	60(85.0)	60(68.3)	
	入学者(志願者)				59(80)	51(83)	41(65)	
	総合型選抜				19(19)	20(20)	11(12)	
	学校推薦型				20(20)	13(13)	13(13)	
	社会人等選抜				0(0)	0(0)	1(1)	
	一般選抜				20(41)	18(50)	16(35)	

(広報活動の状況 デザイン環境学科) 単位：件 オープンキャンパスは学園祭除く

	区分	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2024)	R6(2025)	R7(2026)
(生活デザイン)	オープンキャンパス	83人/6回	134人/3回				
	進学ガイダンス	8会場	16会場				
	高校訪問	0校	6校				
	SNS投稿(YouTube)	0件	3件				
	SNS投稿(Instagram)	323件	617件				
デザイン環境	オープンキャンパス			123人/4回	105人/3回	141人/4回	
	進学ガイダンス			5会場	7会場	2会場	
	高校訪問			20校	40校	25校	
	SNS投稿(YouTube)			3件	8件	5件	
	SNS投稿(Instagram)			484件	55件	25件	

(本学を希望した理由 新入生アンケート結果 デザイン環境学科) 複数回答可

学科	項目	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
(生活デザイン)	短期に一般教養や専門知識・技術を身につける	23.5%	19.7%	23.1%				
	資格をとる	17.0%	18.3%	14.9%				
	自分が学びたいことが学べる環境・カリキュラムである	26.5%	25.6%	24.6%				
	4大の3年次編入や専門学校などへの選択ができるから	8.5%	10.2%	11.9%				
	卒業後の就職に有利	4.0%	2.9%	4.5%				
	公立	20.5%	23.4%	20.9%				
デザイン環境	短期に一般教養や専門知識・技術を身につける				20.3%	21.8%	25.3%	
	資格をとる				17.6%	15.3%	14.1%	
	自分が学びたいことが学べる環境・カリキュラムである				25.5%	27.4%	25.3%	
	4大の3年次編入や専門学校などへの選択ができるから				7.8%	8.9%	8.1%	
	卒業後の就職に有利				7.8%	4.0%	2.0%	
	公立				20.3%	22.6%	24.2%	

4. 地域貢献活動

(教員の地域貢献活動の状況 デザイン環境学科) 単位：件

学科	区分	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
(生活デザイン)	公開講座	0	2	2			
	出前・出張講座	0	3	2			
	地域連携活動	12	22	13			
	行政等審議会員派遣	15	12	9			
デザイン環境	公開講座				2	11	
	出前・出張講座				1	11	
	地域連携活動				16	17	
	行政等審議会員派遣				7	15	

5. 研究活動

(外部資金獲得の状況 デザイン環境学科) 単位：件

学科	区分	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
(生活デザイン)	科研費採択	5	3	3			
	奨学寄附金採択	3	3	1			
デザイン環境	科研費採択				4	1	
	奨学寄附金採択				1	0	